

施工説明書 アラウーノ専用手洗い (背面タイプ／連動水栓)

品番

部材	型・水栓	据置き型	フロート型
		XGH8HGE□L(R)	XGH8YGE□L(R)
キャビネット本体		GHA8FHL(R)	GHA8FYL(R)
手洗いボール		GHA8T2EH	GHA8T2EY
ゲート		GHA8HG□	GHA8YG□

R：R仕様/L：L仕様/□：色品番



もくじ

安全上のご注意	2
部品表	4
施工前の準備	6
施工手順(据置き型)	12
施工手順(フロート型)	23
アラウーノ本体との連動と試運転	34
施工後の確認／扉の取り付けかた	裏表紙

- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」(2～3ページ)は、施工前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 取扱説明書、施工完了チェックリストは必ず必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- 対応するアラウーノの機種をご確認ください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●バスルームなどの湿気の多い場所に設置しない 感電や火災の原因となります。 ●分解・改造はしない 感電・火災・けがの原因となります。 ●屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には施工しない 本体が破損し、発火や発煙の原因となります。 ●電気線を無理に引っ張らない けがや発火、発煙の原因となります。 ●配線後、電気線をコネクタケースから外さない 感電の原因となります。 ●電気線の屈曲など破損するようなことはしない 感電・火災・けがの原因となります。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●電気線に水や汚水をかけない 感電の原因となります。 ●ぬれた手で電気線をさわらない 感電の原因となります。 ●給水ホースと電気線を接触させない 感電や火災のおそれがあります。 ●便器を取り付けるときは、電気線やアース線をはさみ込まない 火災や感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う 漏電・火災・水漏れの原因となります。 ●アラウーノ本体の電源プラグが入っていないことを確認して電気線を接続する 感電の原因となります。 	 必ず守る	

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●給水管に強い力を加えない 破損による水漏れの原因となります。 	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する 石こうボードの場合は、樹脂プラグを打ち込んでから壁面固定する また、ねじ固定を指定の個所に1か所追加する 十分な強度がない場合は、12mm以上の合板で補強する 落下によるけがの原因となります。 ●ねじ頭が飛び出たままにならないように最後までしっかりとめる 配管を傷つけ、水漏れの原因となります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●施工後は必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する 拡大損害の原因となります。 ●施工後は必ず手洗いボールや扉のがたつきがないことを確認する 落下によるけがの原因となります。 ●壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する 落下によるけがの原因となります。 		

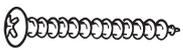
⚠ 注意

<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">!</div> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●排水管をしっかり締めつける 水漏れの原因となります。 ●水道工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う 水漏れの原因となります。 ●上水道に接続する 故障・肌のかぶれの原因となります。 ●凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う 水漏れなどで家財などに損害を与える原因となります。 	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">!</div> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●給排水接続は必ず正しい方法で施工する 破損・水漏れの原因になります。 ●止水栓にがたつきのないことを確認する 水漏れの原因になります。 ●給排水の接続には必ず指定のパッキンを使用する 施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。 ●施工時は製品の転倒に注意する けがの原因となります。
---	---

改訂履歴

改訂年月	NO.	改訂ページ	改訂内容
2021年3月	1版	8、20、31、 34、35	CH160に関する文言追加
2021年6月	2版	34、35	スティックリモコン使用ボタン例の追記
2021年8月	3版	34、35	アラウーノ本体との連動の記載追加
2022年11月	5版	11	床フランジのイラスト修正
2023年11月	6版	4、12～33、 裏表紙	クイックファスナーの仕様変更、イラスト修正

ねじセット

部品名	入り数	部品名	入り数	部品名	入り数		
トラスタッピンねじ φ4×45 SUS  *キャビネット、給水弁ユニット、 取付プレート固定に使用	13 ^{※1}	給水ホース・ 導入ホース固定用部品	トラスタッピンねじ φ4×28 SUS  *ナイロンクランプ 固定に使用	3	手洗いボール固定用部品	ワッシャー 4.5×16×1.0 SUS  *手洗いボール固定に使用	2
樹脂プラグ  *石こうボードの場合 キャビネット固定に使用	9 ^{※2}		ナイロンクランプ NK9  *給水ホース固定に使用	2		スリムヘッド小ねじ φ4×20 SUS  *手洗いボール固定に使用	2
連結タッピングねじ φ4×28  *カウンター、エンドパネル 固定に使用	5		ナイロンクランプ NK24  *導入ホース固定に使用	1		ゴムワッシャー 5.3×16×1.5  *手洗いボール固定に使用	2
連結キャップ スーパーホワイト  *カウンター、エンドパネル 固定に使用	5		ケーブルフック  *電気線固定に使用	3		SUSスペーサー 4×5.3×L=8  *手洗いボール固定に使用	2

※1：石こうボードの場合：9本使用、石こうボード以外の場合：8本使用

※2：石こうボードの場合：9本使用、コンクリートの場合：8本使用、左記以外の場合：使用しない

施工前の準備

取り付け前の確認

- 使用水圧範囲は、0.1MPa(流動時)～0.75MPa(静止時)です。
- 一部の特定地域では設置できない場合や水道事業管理者の承認が必要な場合があります。
弊社営業所、または販売店にご相談ください。
- 止水栓および便器は、この製品に含まれておりません。別途お求めください。
- キャビネットには、背板がありません。リフォームなどでトイレルームのクロスを貼り替える場合は、設置前に貼ってください。
- 便器の中心から手洗いボール側の壁面が375～395mmの場合のみ設置可能です。
間口の中心が便器の中心の場合、設置可能なトイレルームは、間口750～790mmです。
- 本書では、便器に向かって、手洗いを左に設置する場合をL仕様、右に設置する場合をR仕様と呼んでいます。
R仕様とL仕様は対称となります。

設置位置の確認

- 湿気の多い場所には設置しないでください。
腐食するおそれがあります。
- 直射日光のあたる場所には設置しないでください。
変色するおそれがあります。
- 製品の固定前に壁構造を必ず確認してください。
製品の固定位置の壁裏面に木枠がない場合は、壁面裏に幅90mm×厚さ21mm以上の木枠を取り付けるか、厚さ12mm以上の補強合板を貼り付けて、壁の補強を行ってください。
ただし、石こうボードの場合(十分な強度があることを確認してください)は、同梱の樹脂プラグを打ち込んでから壁面固定し、ねじ固定を指定の個所に1か所追加することで設置することができます。
(詳細は14、25ページをご参照ください。)
壁面コンクリートの場合、樹脂プラグを打ち込んでから壁面固定してください。
- 製品を固定する壁面は平らに、かつ床面に対して垂直に仕上げてください。
幅木などがある場合は、建築側と調整し、製品が壁面にすき間なく固定できるようにしてください。
壁面が平らでない場合、製品が変形し、扉面に著しい段差が生じることがあります。

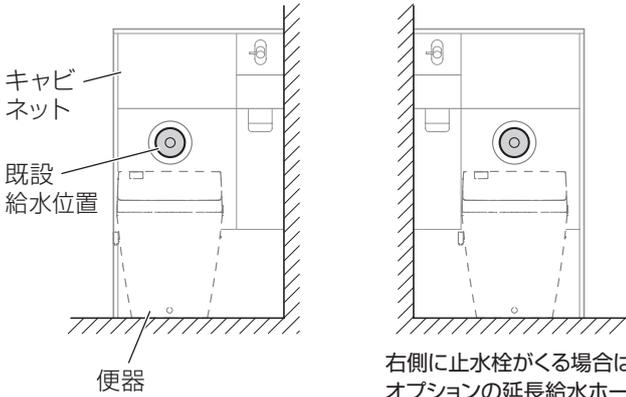
給水位置の確認①

※本体はCH150です。

① 給水位置が設置するキャビネットの内側、外側のどちらにあるか確認する。

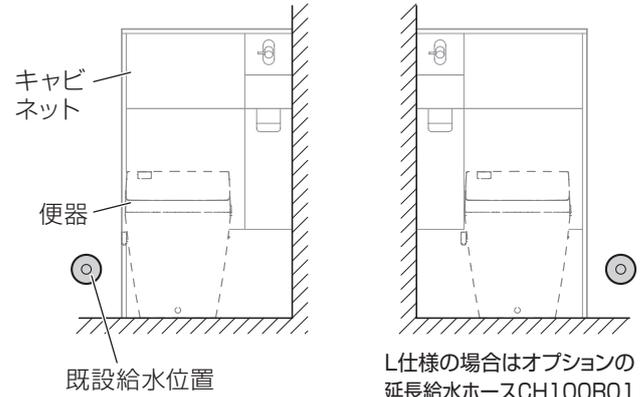
内側にある

R仕様 L仕様



外側にある

R仕様 L仕様



9ページの

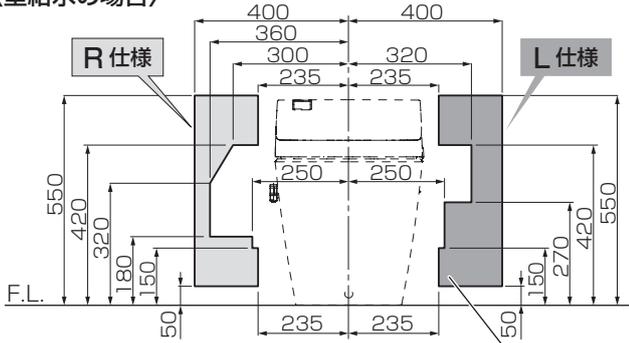
「給水位置の確認②」へすすむ。

下図の給水可能範囲をご確認ください。

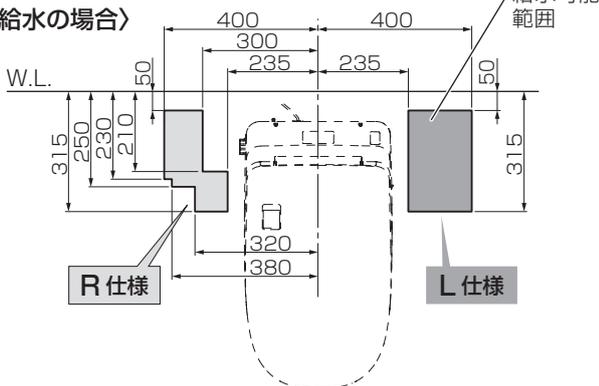
CH150と接続する場合

据置き型

〈壁給水の場合〉

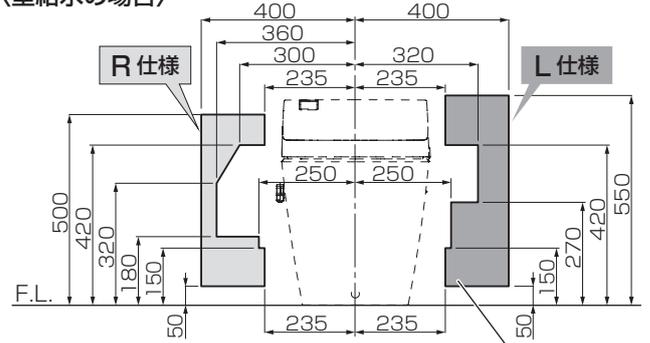


〈床給水の場合〉

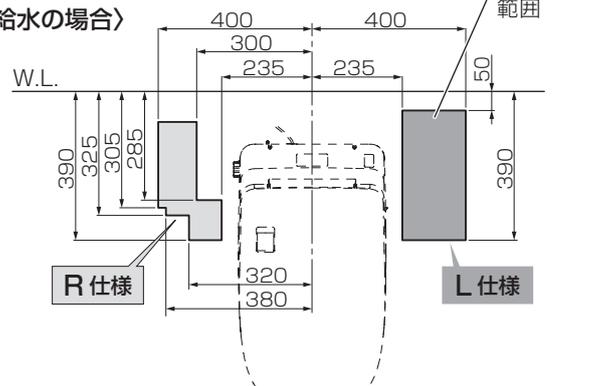


フロート型

〈壁給水の場合〉



〈床給水の場合〉



施工前の準備

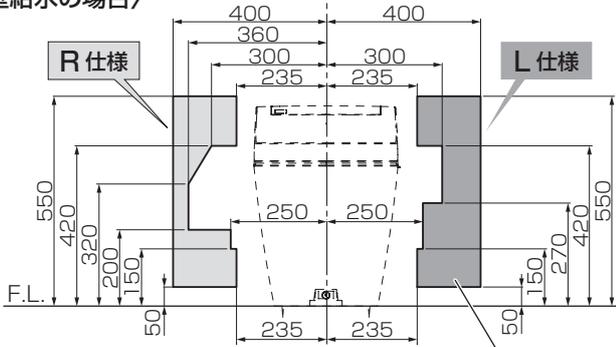
施工前の準備

給水位置の確認①

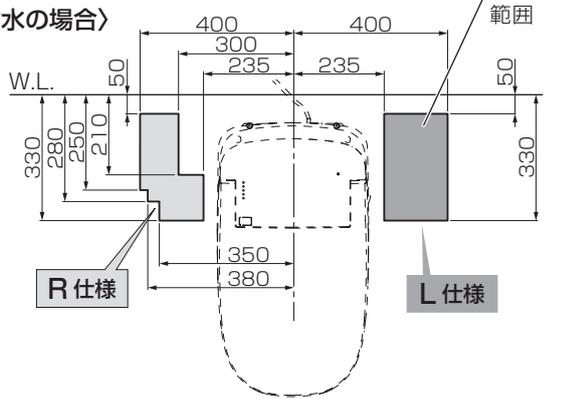
CH160と接続する場合

据置き型

〈壁給水の場合〉

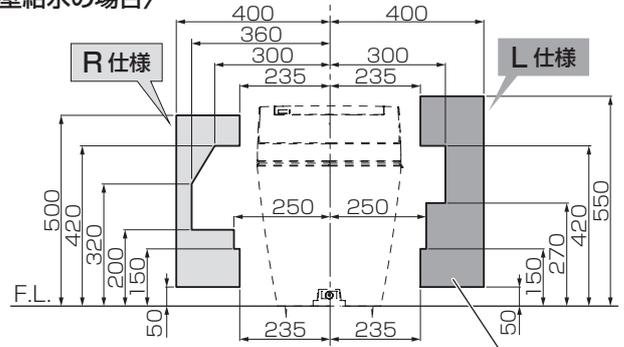


〈床給水の場合〉

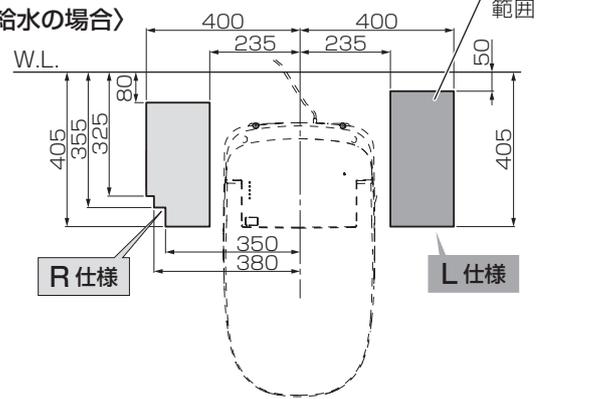


フロート型

〈壁給水の場合〉



〈床給水の場合〉



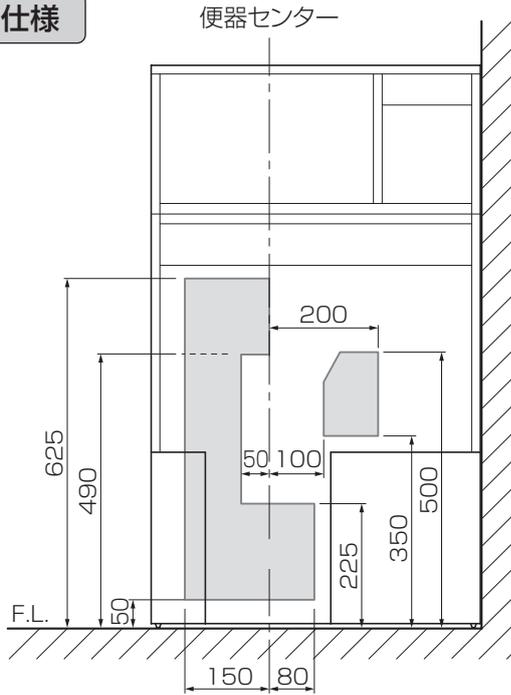
給水位置の確認② <キャビネット内側にある場合>

② 給水位置がキャビネットの内側にある場合※、下図の給水可能範囲内であることを確認してください。

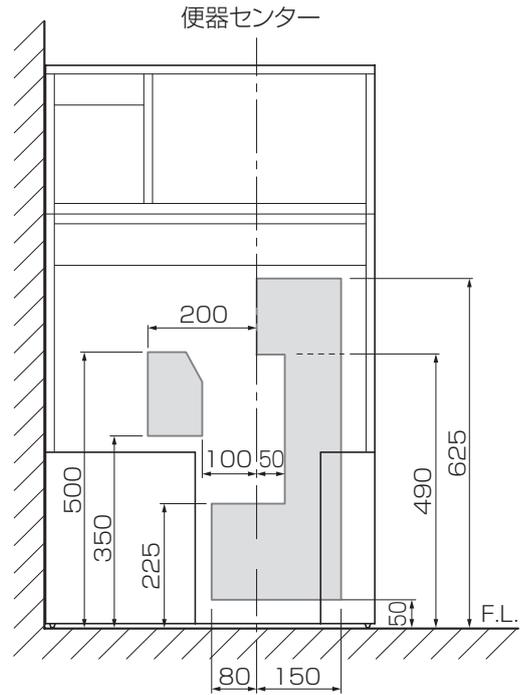
※取替止水栓セット(CHA01T)が必要です。

据置き型

R仕様



L仕様

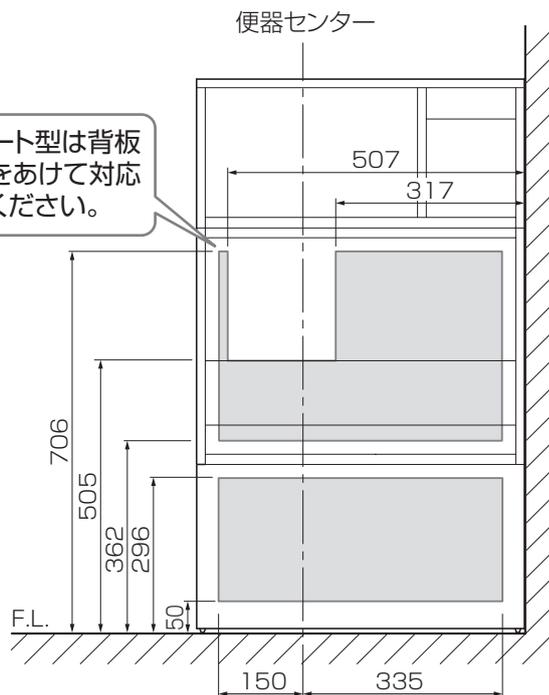


フロート型

R仕様

※L仕様は左右反転です。

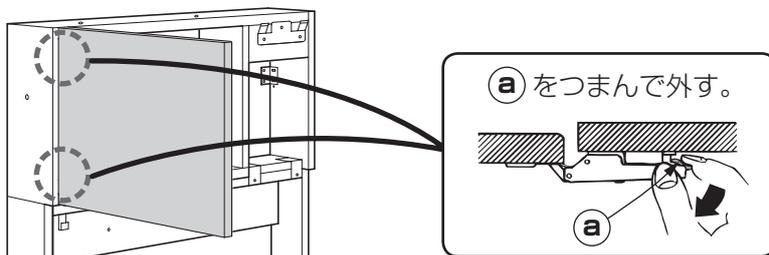
フロート型は背板に穴をあけて対応してください。



施工前の準備

扉の取り外しかた

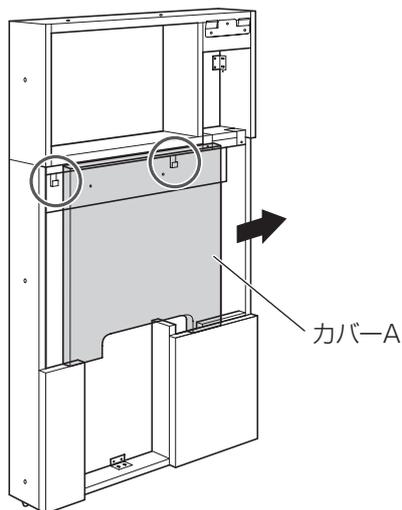
扉を外すと施工しやすくなります。



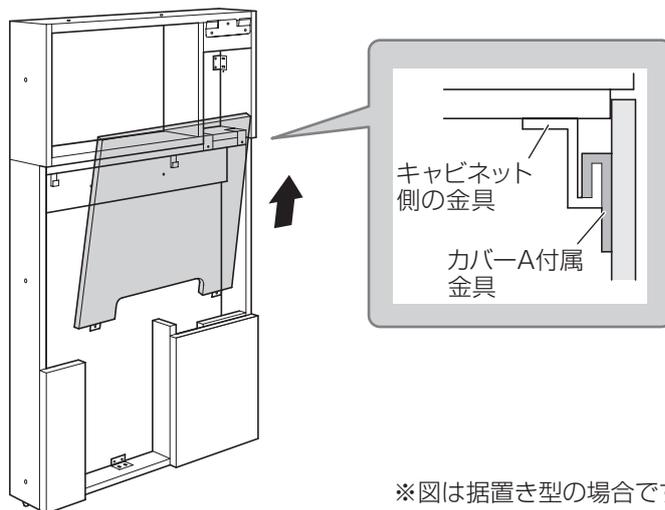
カバーAの取り外しかた

梱包時は、カバーAはキャビネットに付属しています。先にカバーAを取り外してから、施工してください。

① 横にスライドさせる



② 引き上げる



※図は据置き型の場合です。

アラウーノ施工型紙基準位置および床フランジ向きの確認

床排水

アラウーノ施工型紙の基準位置および、床フランジの向きにご確認ください。
排水芯によっては、床フランジを反転して使用する場合があります。

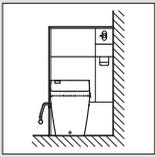
排水芯	型紙基準位置	床フランジ向き
据置き型 200 mmの場合 フロート型 265 mmの場合	据置き型 基準位置 80	側面図 *1…据置き型：200、フロート型：265
据置き型 280 mmの場合 フロート型 345 mmの場合	フロート型 基準位置 145	側面図 *2…据置き型：280、フロート型：345
据置き型 385～550 mmの場合 フロート型 450～615 mmの場合	 *3…据置き型：80 フロート型：145	アラウーノ施工型紙を左図のように ずらした位置でリフォーム用配管を カットしてください。

壁排水

背面キャビネット本体を設置する前に、アラウーノ便器用固定片を固定してください。

※背面タイプ本体キャビネットを設置後に固定片を取り付けると、型紙とキャビネットが干渉します。

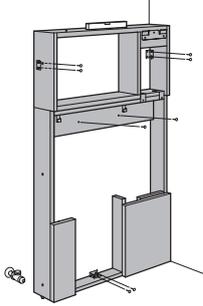
排水ピッチ	設置手順
後ろ抜き(据置き型) ● 100～120 mmの場合 ● 135～155 mmの場合 ※135～155mmの場合は台輪使用。 ※排水ジョイントSを使用してください。	アラウーノ便器用固定片を取り付けてください。 (アラウーノ壁排水タイプ 施工説明書「排水管と本体の接続」を参照してください。)
横抜き(フロート型) ● 100～120 mmの場合 ● 135～155 mmの場合 ※135～155mmの場合は台輪使用。 ※排水ジョイントLを使用してください。	 トラスタッピンねじ φ5×35(2本) 印刷面 型紙 アラウーノ便器用固定片



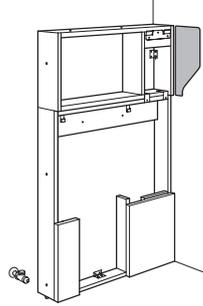
据置き型

施工チャート

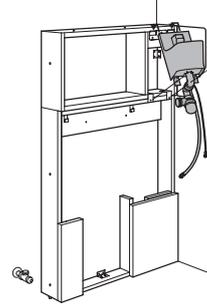
1 キャビネットの取り付け



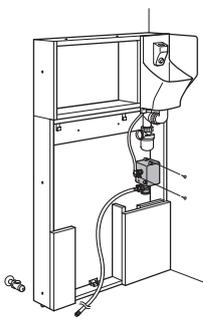
2 水はね防止プレートの取り付け



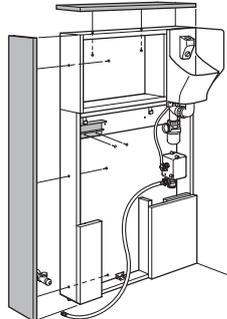
3 手洗いボールの取り付け



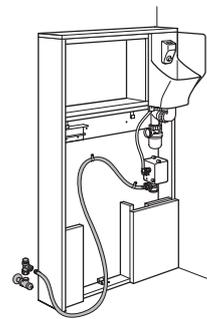
4 給水弁ユニットの取り付け



5 ゲート・取付プレートの取り付け



6 給水ホースの取り付け

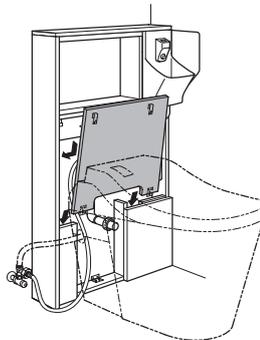


7 便器と接続する

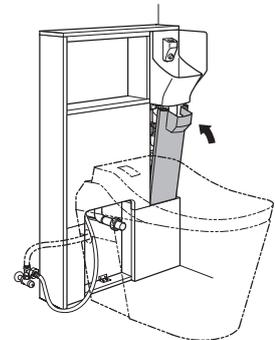


• 試運転をする
• 注意シールを貼り付ける

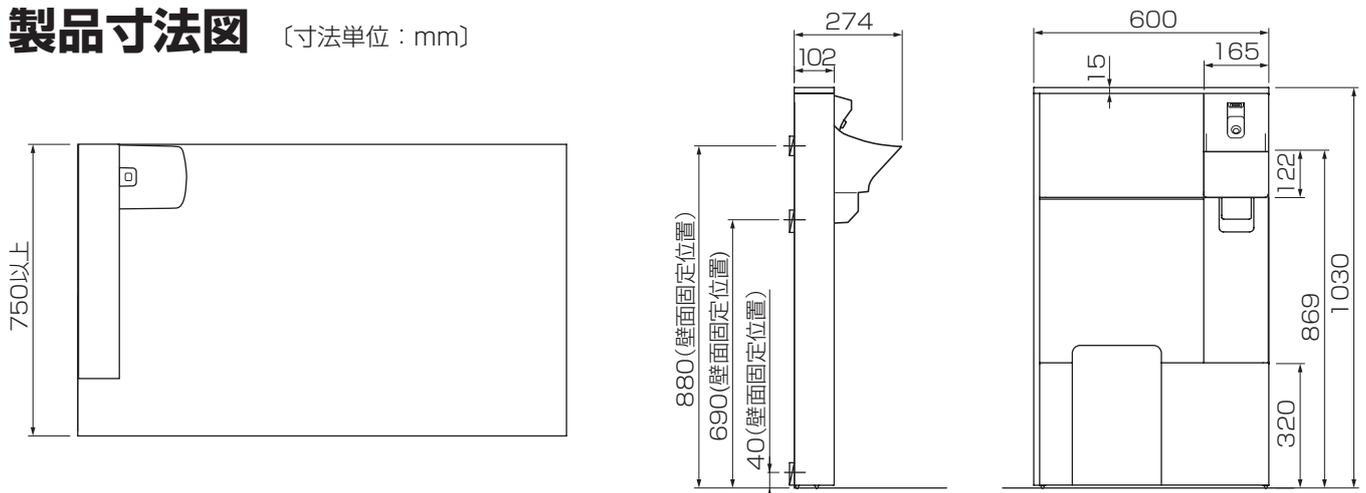
8 カバーAの取り付け



9 カバーBの取り付け



製品寸法図 [寸法単位：mm]



施工手順

据置き型

施工前の準備
6ページ

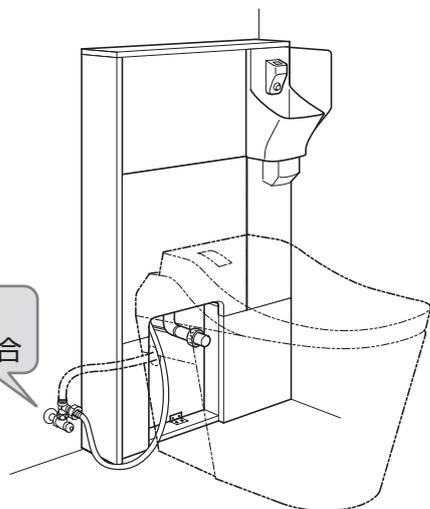
施工手順
1～7
14ページ

アラウーノ本体との
連動と試運転
34ページ

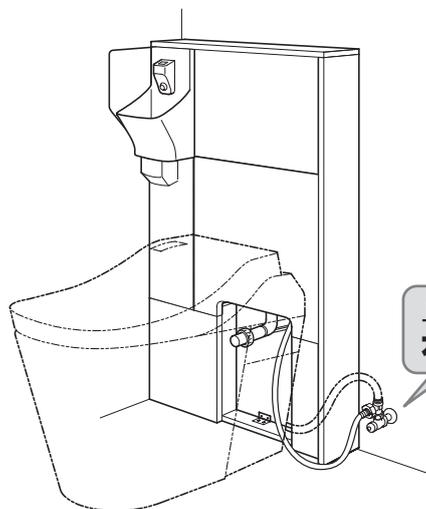
施工手順
8・9
22ページ

施工後の確認
扉の取り付けかた
裏表紙

R仕様

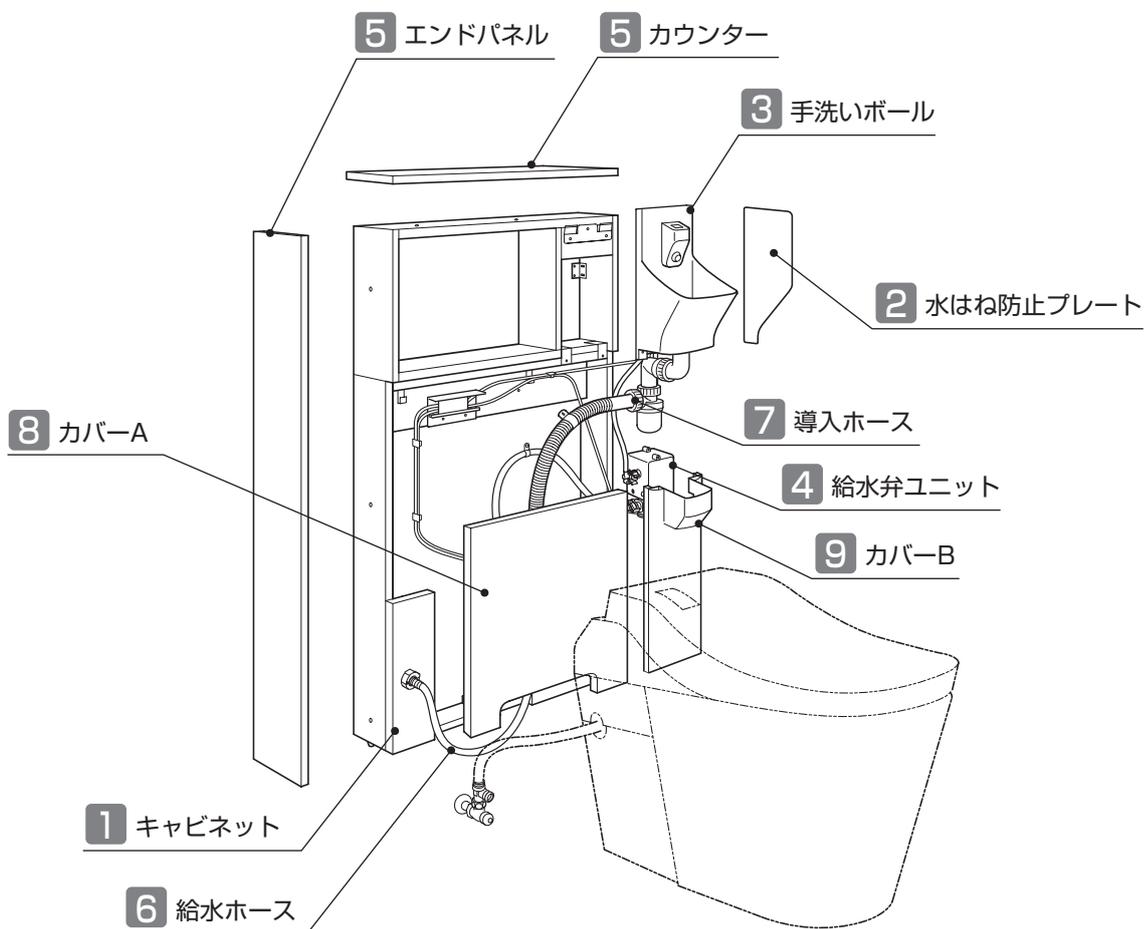


L仕様



●本書はR仕様のイラストで説明しています。L仕様の場合は対称となります。

構成図



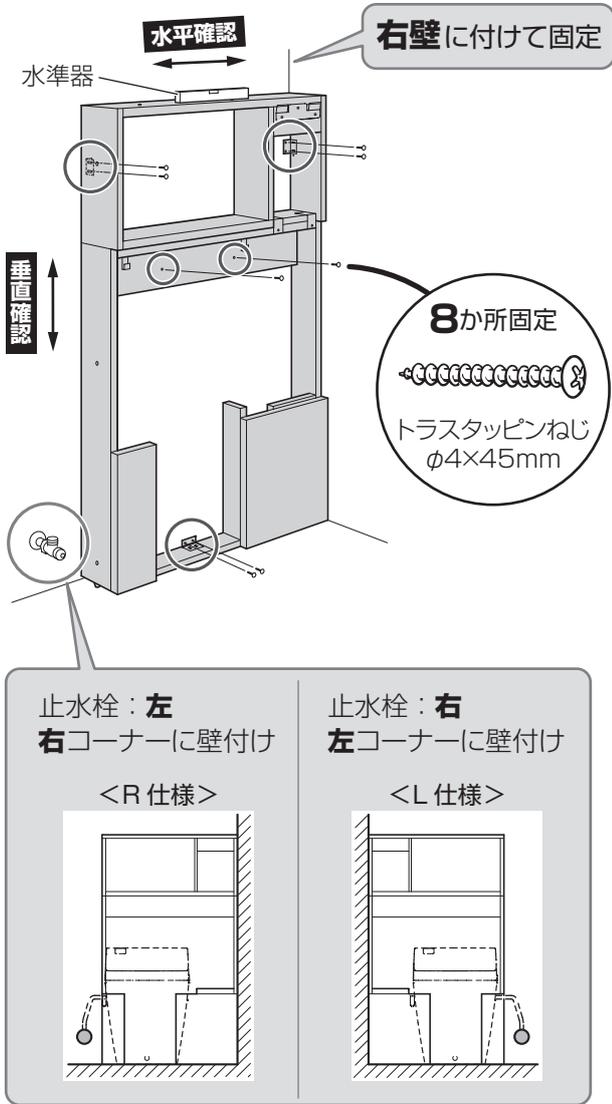
施工手順(据置き型)

施工手順

据置き型

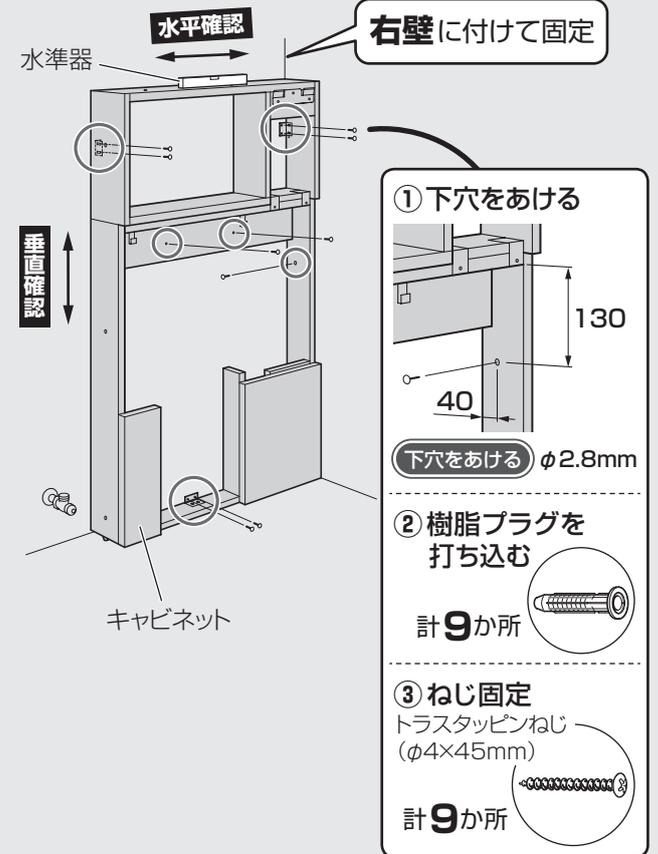
1

キャビネットを壁面に固定する



石こうボードの場合

φ6mmの下穴をあけて、樹脂プラグ(9か所)を打ち込んでから壁面固定してください。

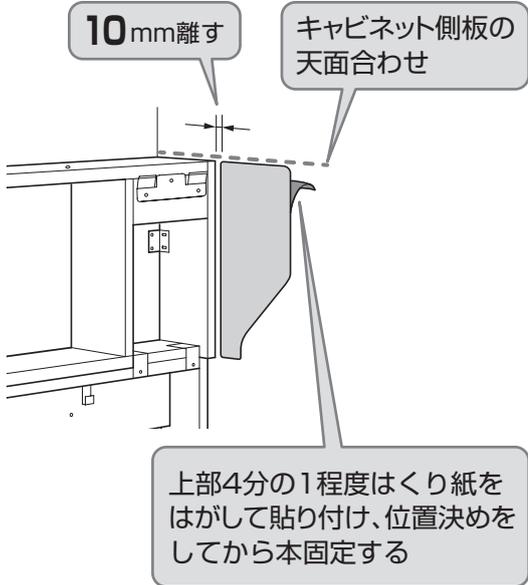


⚠ 注意

必ず守る

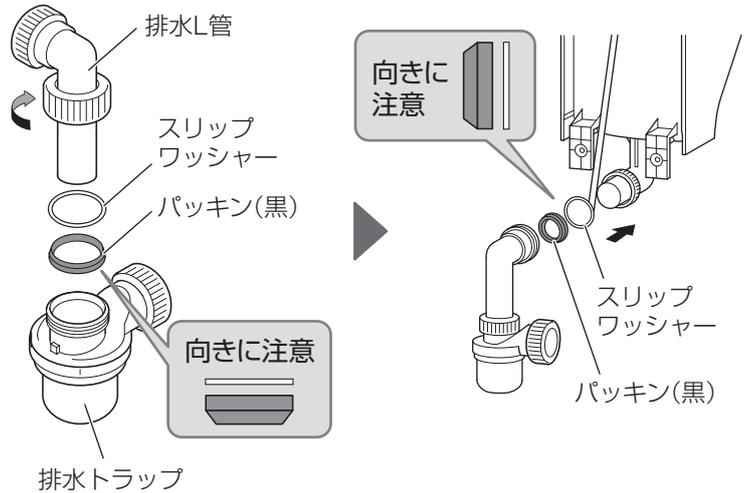
- 壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する
- 石こうボードの場合は、樹脂プラグを打ち込んでから壁面固定する
また、ねじ固定を指定の個所に1か所追加する
十分な強度がない場合は、12mm以上の合板で補強する
落下によるけがの原因となります。

2 水はね防止プレートを取り付ける

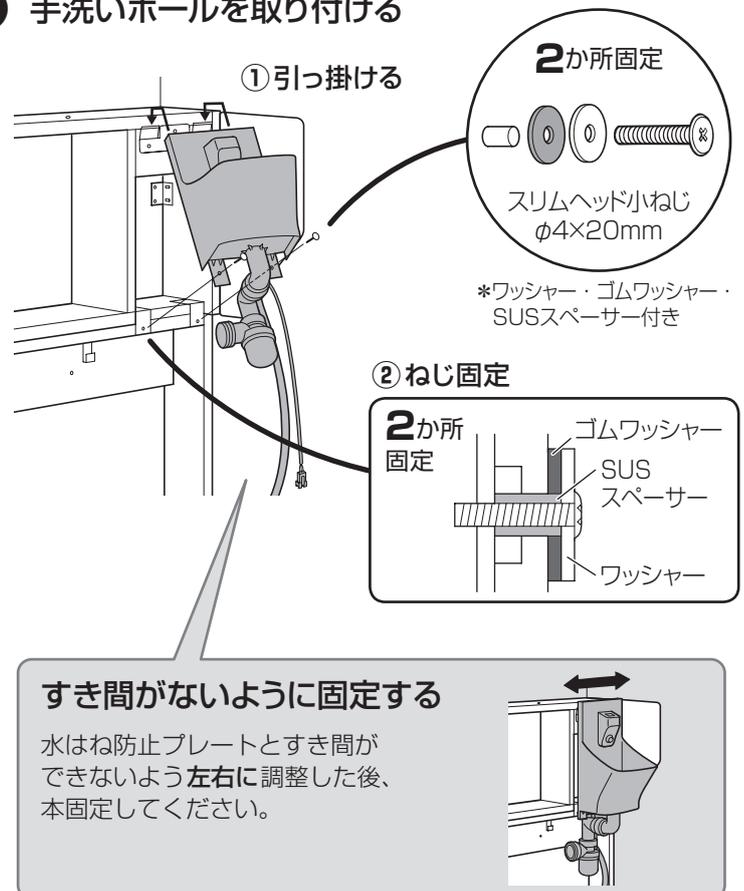


3 手洗いボールを取り付ける

1 配管の接続

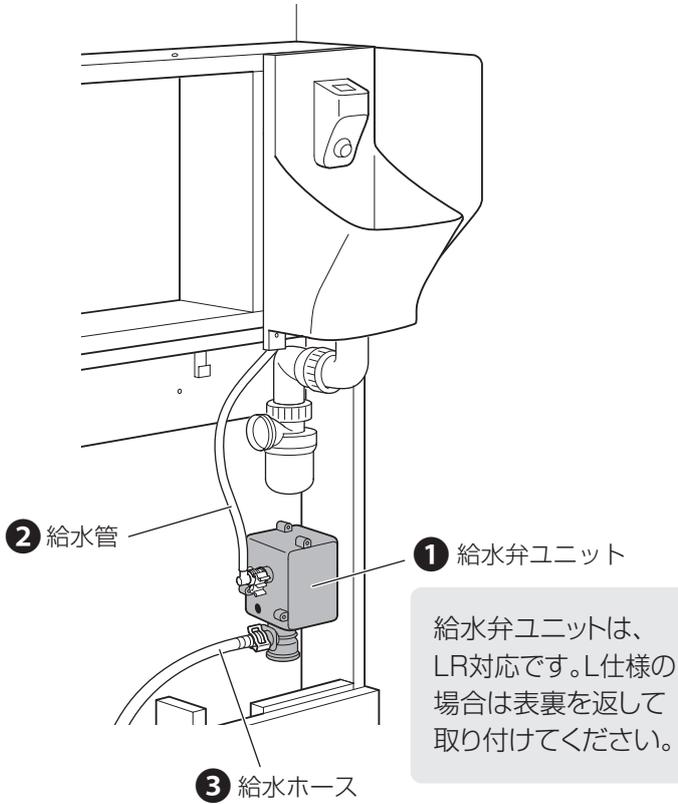


2 手洗いボールを取り付ける



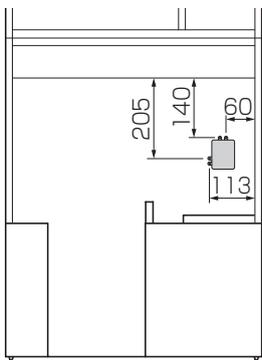
4

給水弁ユニットを取り付ける

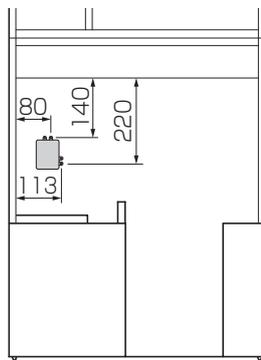


■取り付け位置

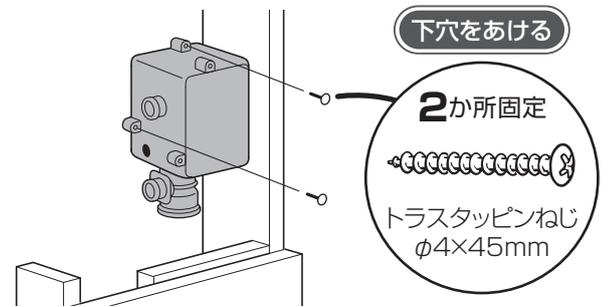
R仕様 向かって 右側



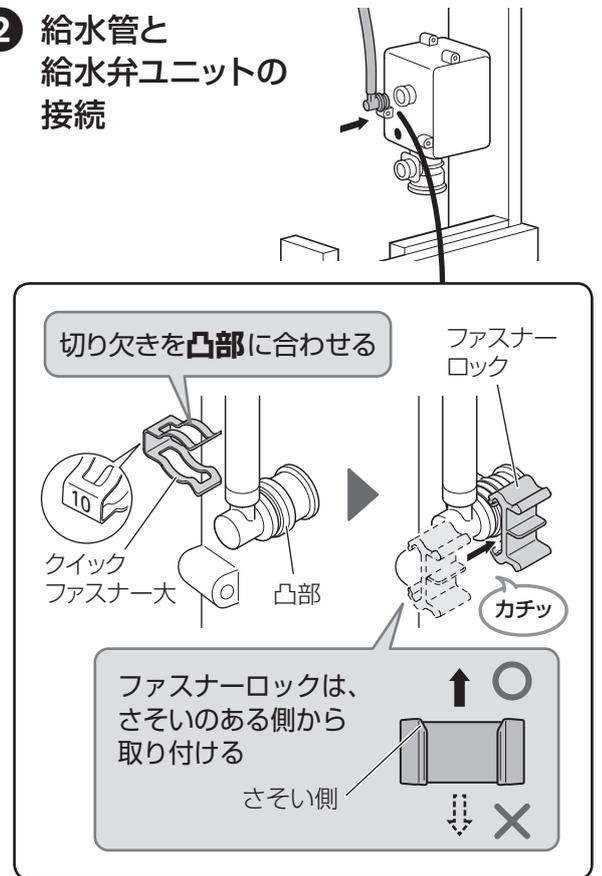
L仕様 向かって 左側



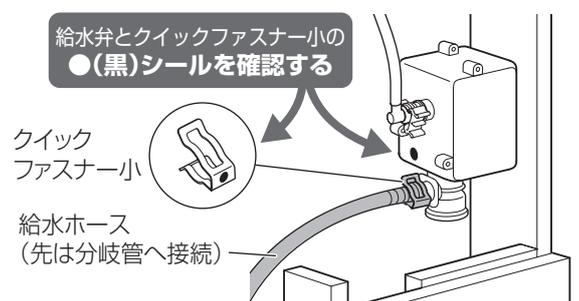
① 給水弁ユニットの固定



② 給水管と給水弁ユニットの接続

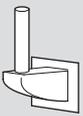


③ 給水ホースの取り付け



オプション

ペーパーストッカーを取り付ける場合は、
エンドパネルを付ける前に取り付けてください。



施工前
の準備
6ページ

施工手順
1~7
14ページ

アラウノ本体との
連動と試運転
34ページ

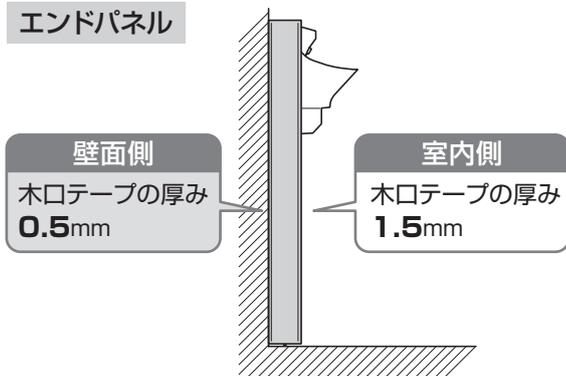
施工手順
8・9
22ページ

施工後の確認
扉の取り付けかた
裏表紙

5

エンドパネル・カウンター・取付プレートを取り付ける

1 部材の向きを確認する



2 エンドパネルの固定

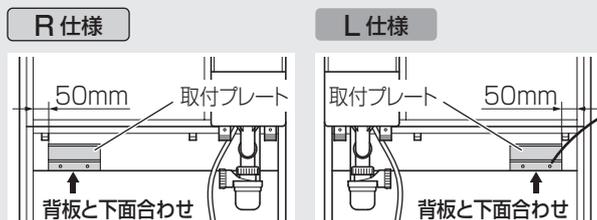


3 カウンターの固定



4 取付プレートの取り付け

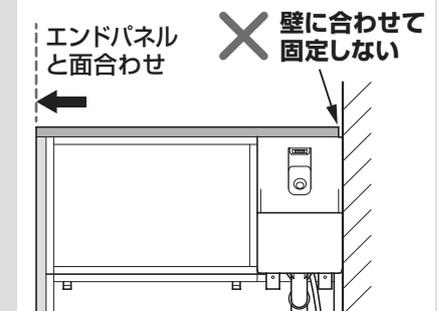
キャビネット内面より50mmの位置に取り付けてください。



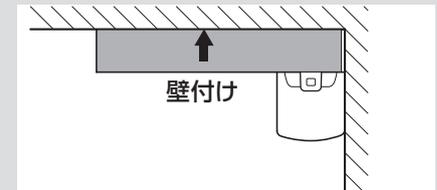
すき間がないように固定する

エンドパネルとカウンターのねじを
仮固定して、すき間ができないよう
調整した後、本固定してください。

■左右方向



■奥行き方向



施工手順(据置き型)

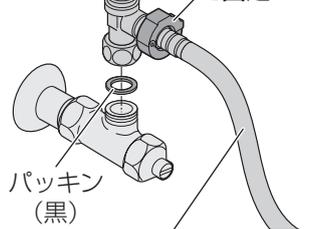
6

給水ホースを止水栓に接続する

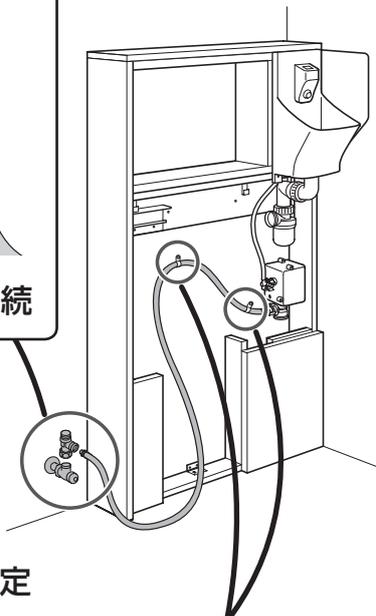
※必ず止水栓を閉めてから作業してください。

① 分岐管の取り付け

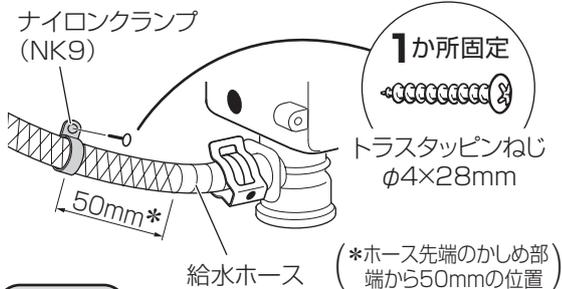
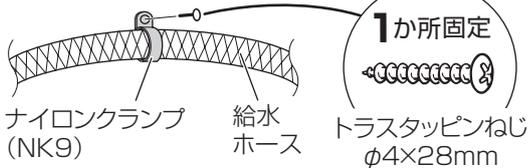
アラウーノ本体の給水に使用
クイックファスナー(カバー付き)で固定



② 給水ホースの接続



③ 給水ホースの固定



注意

上記位置に必ず固定してください。
お客様がストレーナを取り外すときにホースと一緒に回転してしまい、水漏れの原因となります。

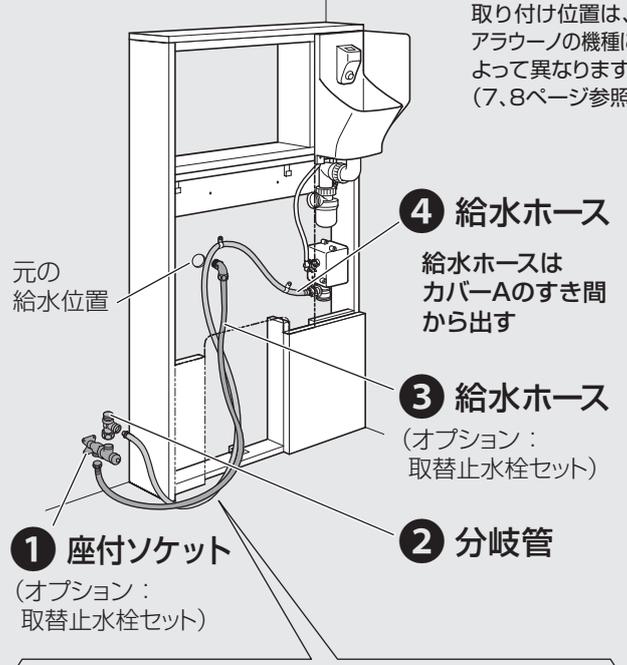
元の給水位置がキャビネットの取付範囲にある場合

①アラウーノ用止水栓を取り付けた座付ソケット(オプション品)を壁面もしくは床面に取り付け*、②分岐管の取り付け、③元の給水位置への接続、④給水ホースの取り付けの順にそれぞれ施工してください。

取替止水栓セット
CHA01T



*座付ソケットの取り付け位置は、アラウーノの機種によって異なります。(7,8ページ参照)

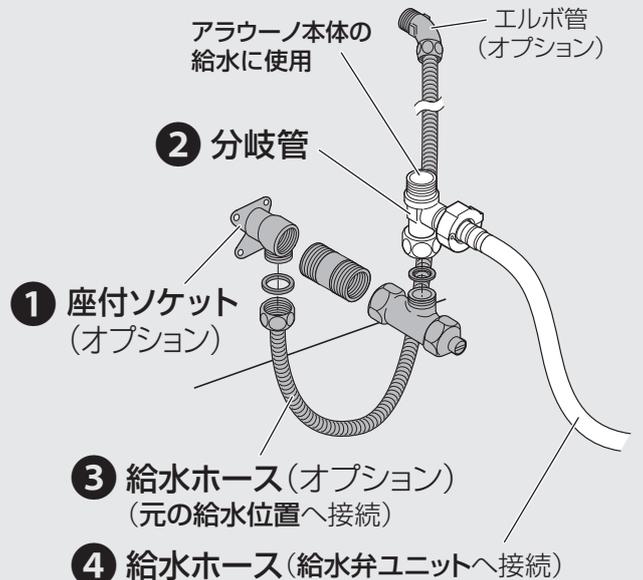


① 座付ソケット
(オプション：取替止水栓セット)

② 分岐管

③ 給水ホース
(オプション：取替止水栓セット)

④ 給水ホース
給水ホースはカバーAのすき間から出す



① 座付ソケット
(オプション)

③ 給水ホース(オプション)
(元の給水位置へ接続)

④ 給水ホース(給水弁ユニットへ接続)

7 便器と接続する

CH150と接続する場合

⚠ 注意

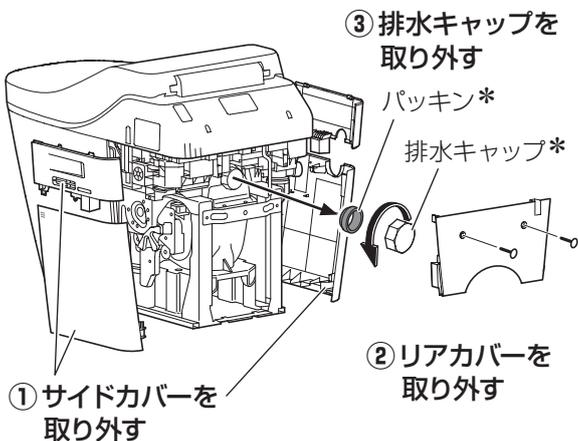
必ず守る 必ず指定のパッキンを使用する
 施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

⚠ 警告

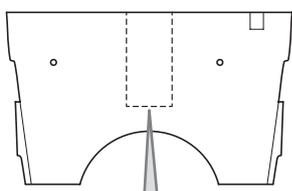
禁止 配線後、電気線をコネクタケースから外さない
 感電の原因になります。

① サイドカバー、リアカバー、排水キャップの取り外し

*取り外した後は絶対に使用しない
 導入ホースに同梱のパッキンを使用してください。

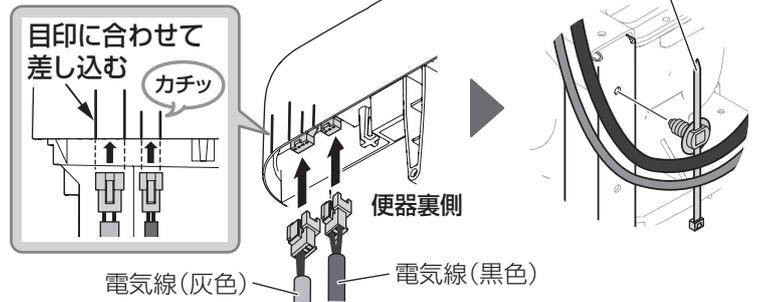


② リアカバーのカット加工



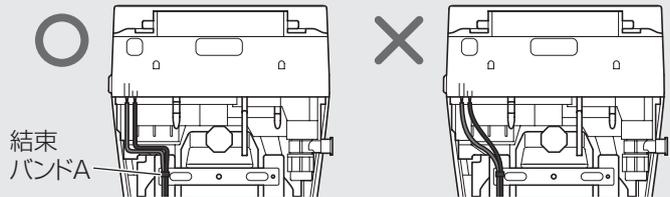
切り込みに沿ってカット

③ 電気線と便器の接続

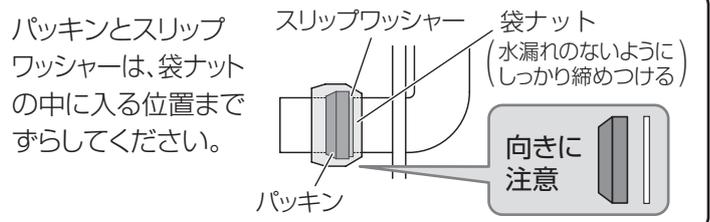
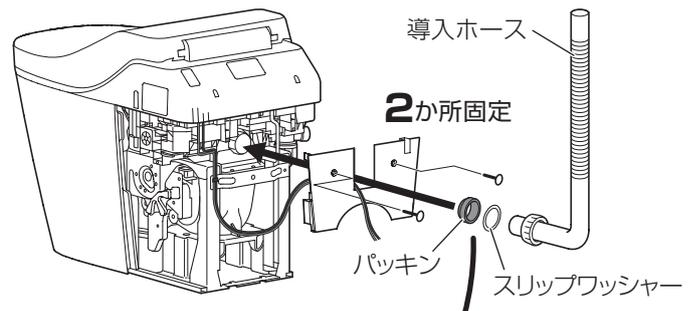


結束バンドAでの固定について

電気線はアラウーノのフレーム幅に収めて固定してください。フレーム幅に収まっていないと、電気線が干渉してリアカバーが閉まりません。



④ 導入ホースと便器の接続



⑤ 便器の取り付け

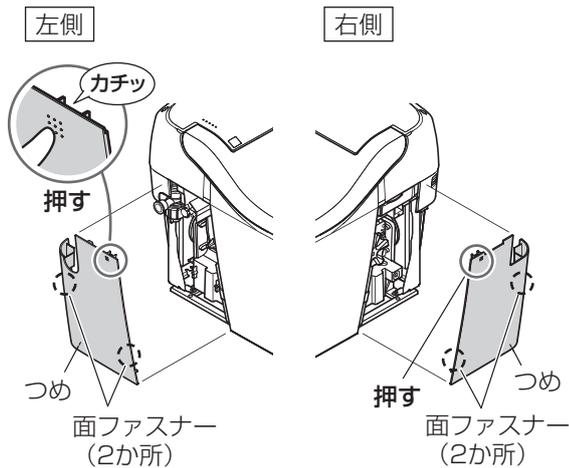
11ページを参照いただき、施工方法はアラウーノの施工説明書にしたがって行ってください。

⑦ 導入ホースと手洗いボールの接続へ進む

7 便器と接続する(つづき)

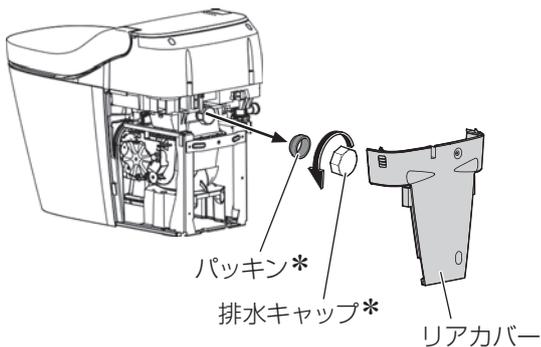
CH160と接続する場合

1 サイドカバーの取り外し

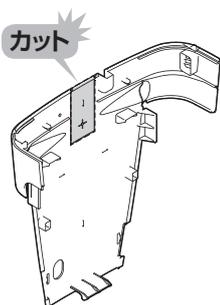


2 リアカバーと排水キャップの取り外し

*取り外した後は絶対に使用しない
導入ホースに同梱のパッキンを使用して
ください。

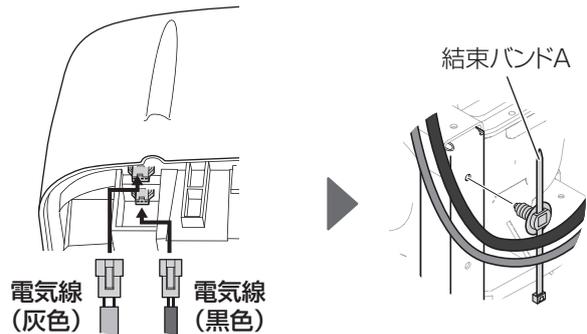


3 リアカバーのカット加工



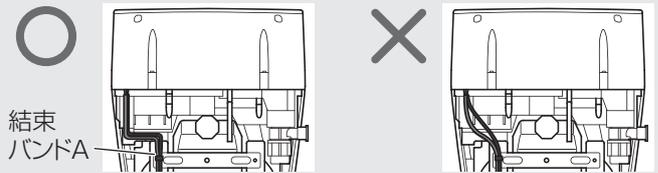
4 電気線と便器の接続

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

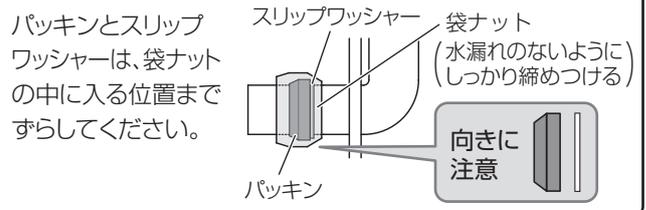
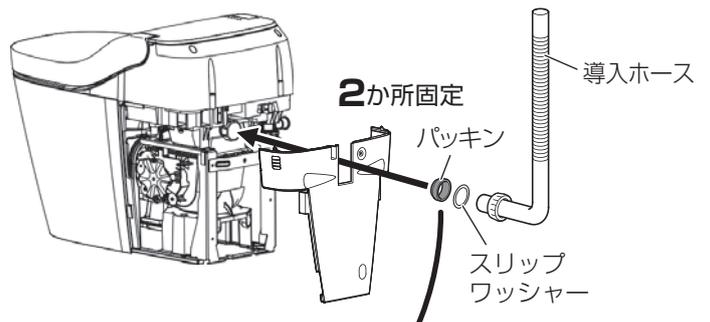


結束バンドAでの固定について

電気線はアラウーノのフレーム幅に収めて固定してください。フレーム幅に収まっていないと、電気線が干渉してリアカバーが閉まりません。



5 導入ホースと便器の接続

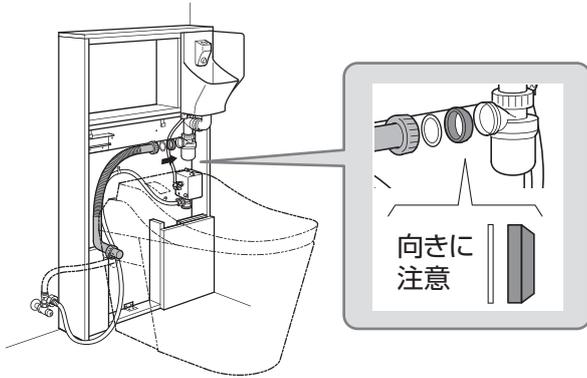


6 便器の取り付け

11ページを参照いただき、施工方法はアラウーノの
施工説明書にしたがって行ってください。

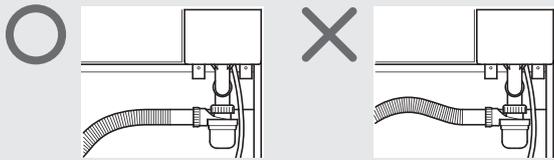
7 導入ホースと手洗いボールの接続へ進む

7 導入ホースと手洗いボールの接続



配管の勾配について

台輪を取り付け、導入ホースが逆勾配になる場合は、導入ホースの排水トラップ側をカットしてください。



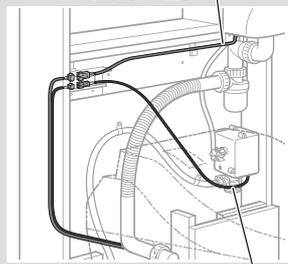
8 電気線の接続

⚠ 警告

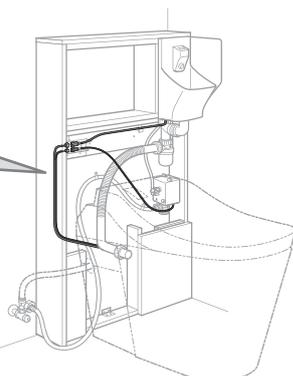
必ず守る アラウーノ本体の電源プラグが入っていないことを確認して電気線を接続する感電の原因になります。

アラウーノの電気線を手洗いボール、給水弁ユニットのそれぞれ同じ色の電気線と接続してください。

[A] 手洗いボールの電気線(灰色)

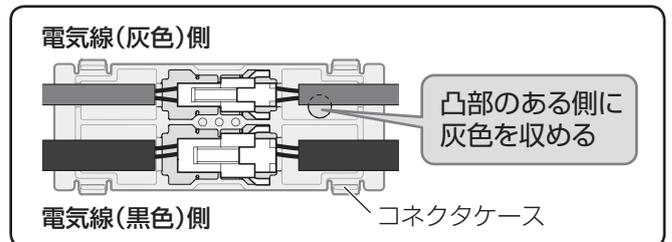


[B] 給水弁ユニットの電気線(黒色)

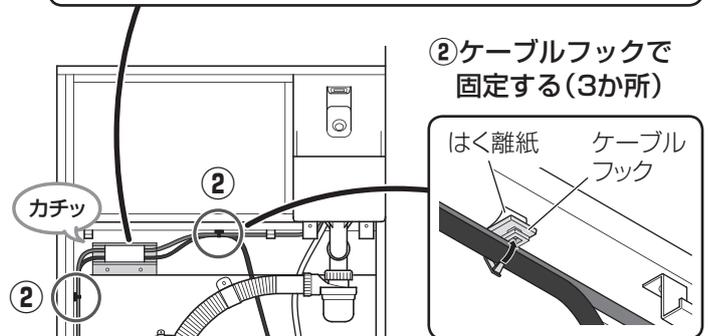


9 電気線の固定

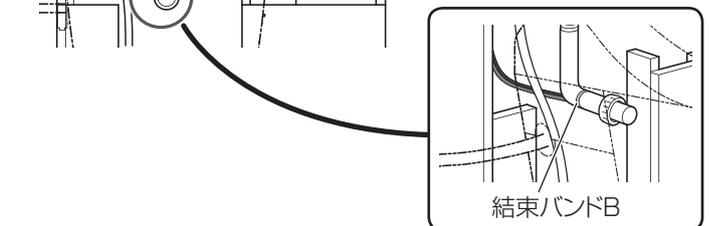
① コネクタケースに収納し、取付プレートの溝にはめる



② ケーブルフックで固定する(3か所)

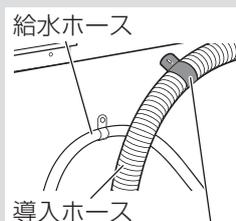


③ 導入ホースの下側に結束バンドBで固定する



10 導入ホースの固定

導入ホースをナイロンクランプで固定して、給水ホースの上から押さえ付けてください。

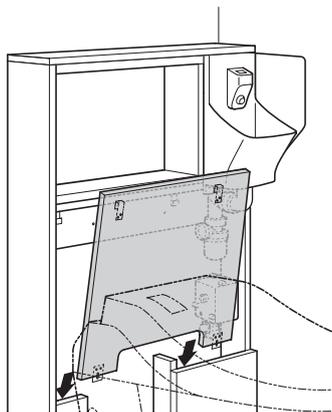


ナイロンクランプ(NK24)
*トラスタッピンねじ
φ4×28で固定する。

施工手順(据置き型)

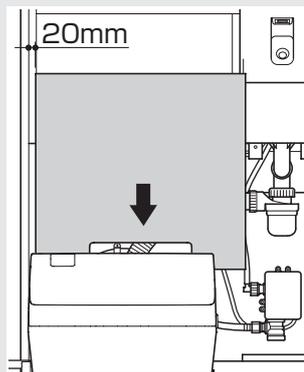
8 カバーAを取り付ける

1 木口に乗せる

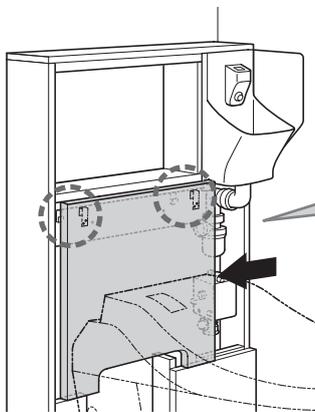


カバーAの差しかたについて

エンドパネルより20mmの位置を目安に差し込んでください。

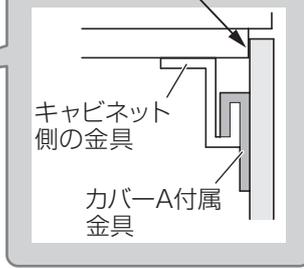


2 左にスライドして金具をかん合させる

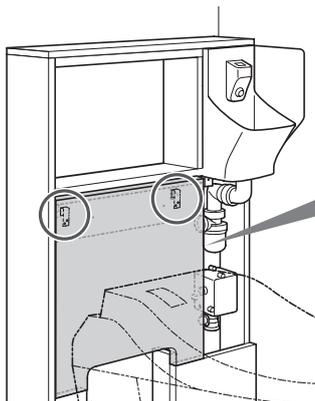


あててスライドする

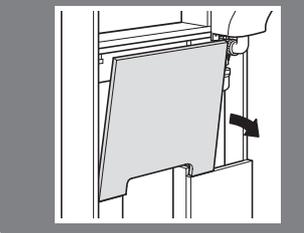
キャビネット側の金具
カバーA付属金具



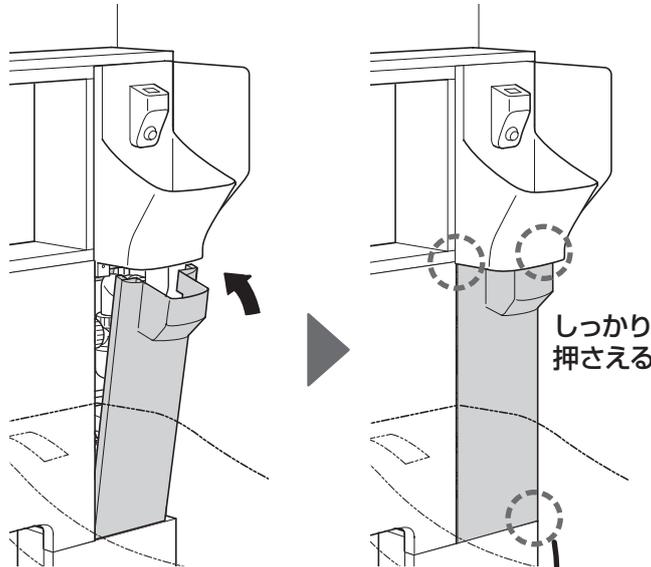
3 エンドパネルに当てる



パネルが手前に倒れる
→ 金具に差し込んでいません。

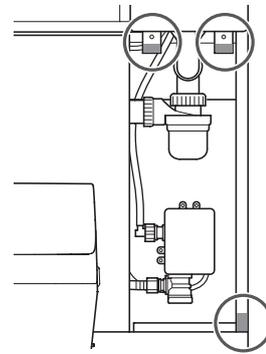


9 カバーBを取り付ける



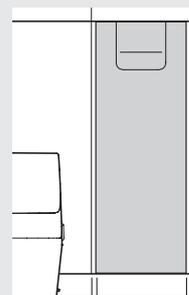
しっかり押さえる

キャビネットに3か所面ファスナーが取り付けられています。

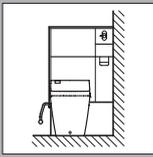


すき間の調整について

カバーBはすき間を均等に空けて、しっかり押さえて取り付けください。



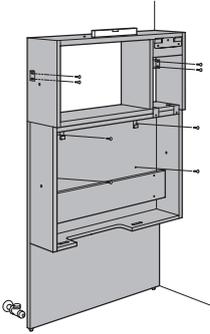
均等に空ける



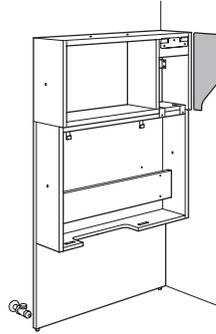
フロート型

施工チャート

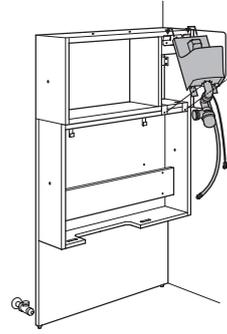
1 キャビネットの取り付け



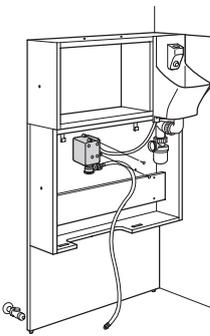
2 水はね防止プレートの取り付け



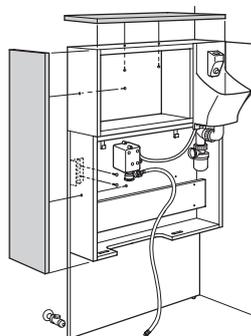
3 手洗いボールの取り付け



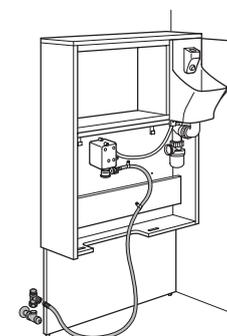
4 給水弁ユニットの取り付け



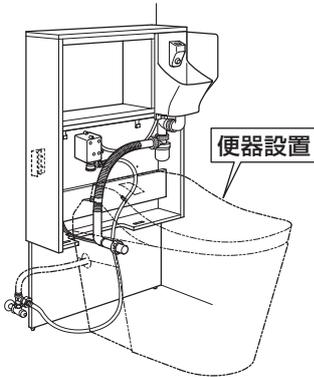
5 ゲート・取付プレートの取り付け



6 給水ホースの取り付け

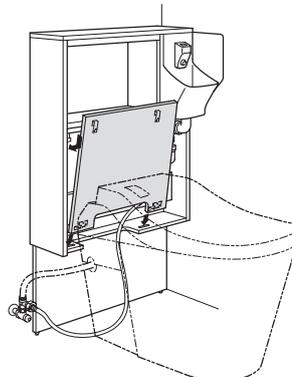


7 便器と接続する

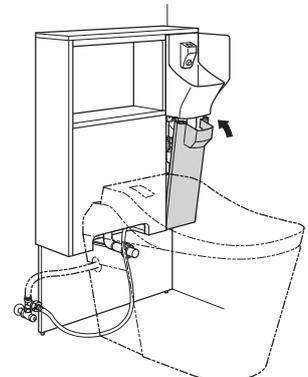


• 試運転をする
• 注意シールを
貼り付ける

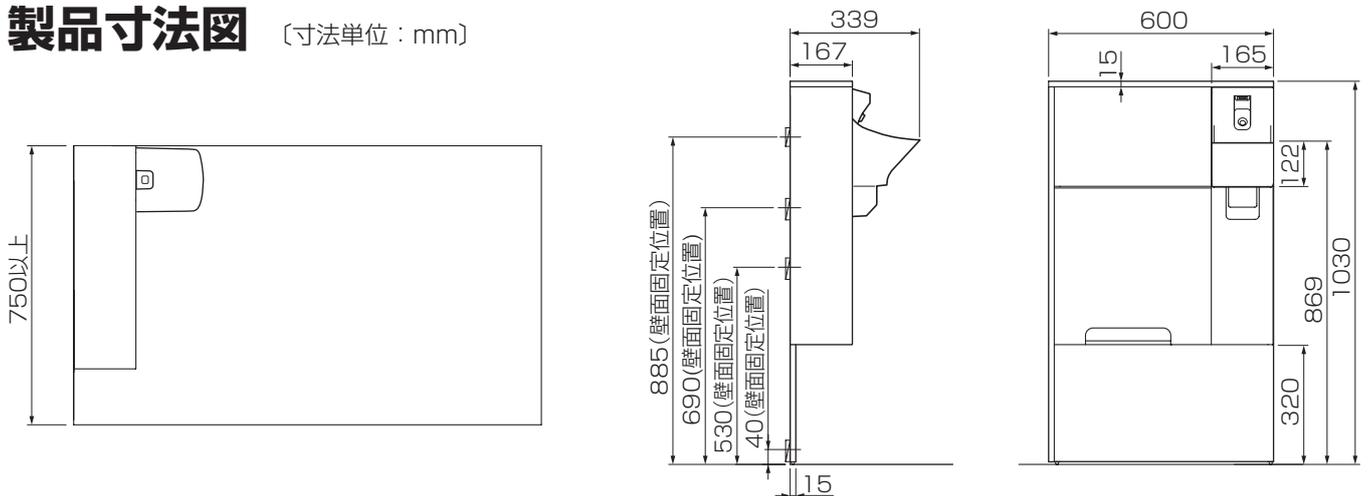
8 カバーAの取り付け



9 カバーBの取り付け



製品寸法図 [寸法単位：mm]

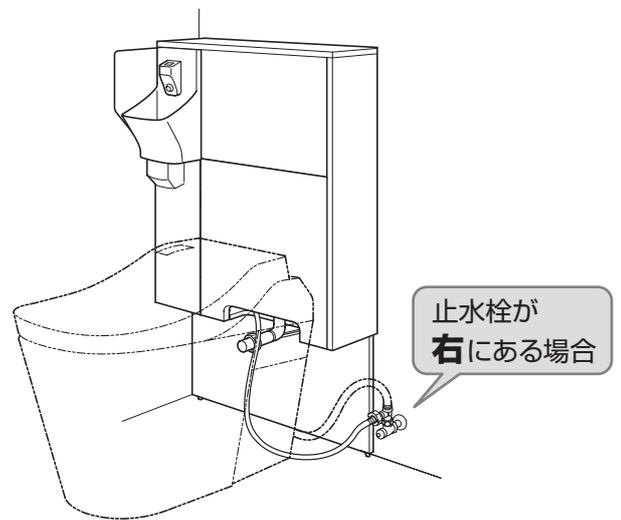
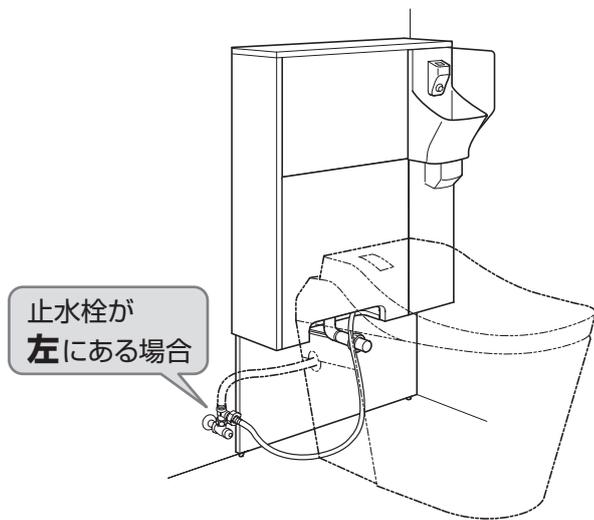


施工手順

フロート型

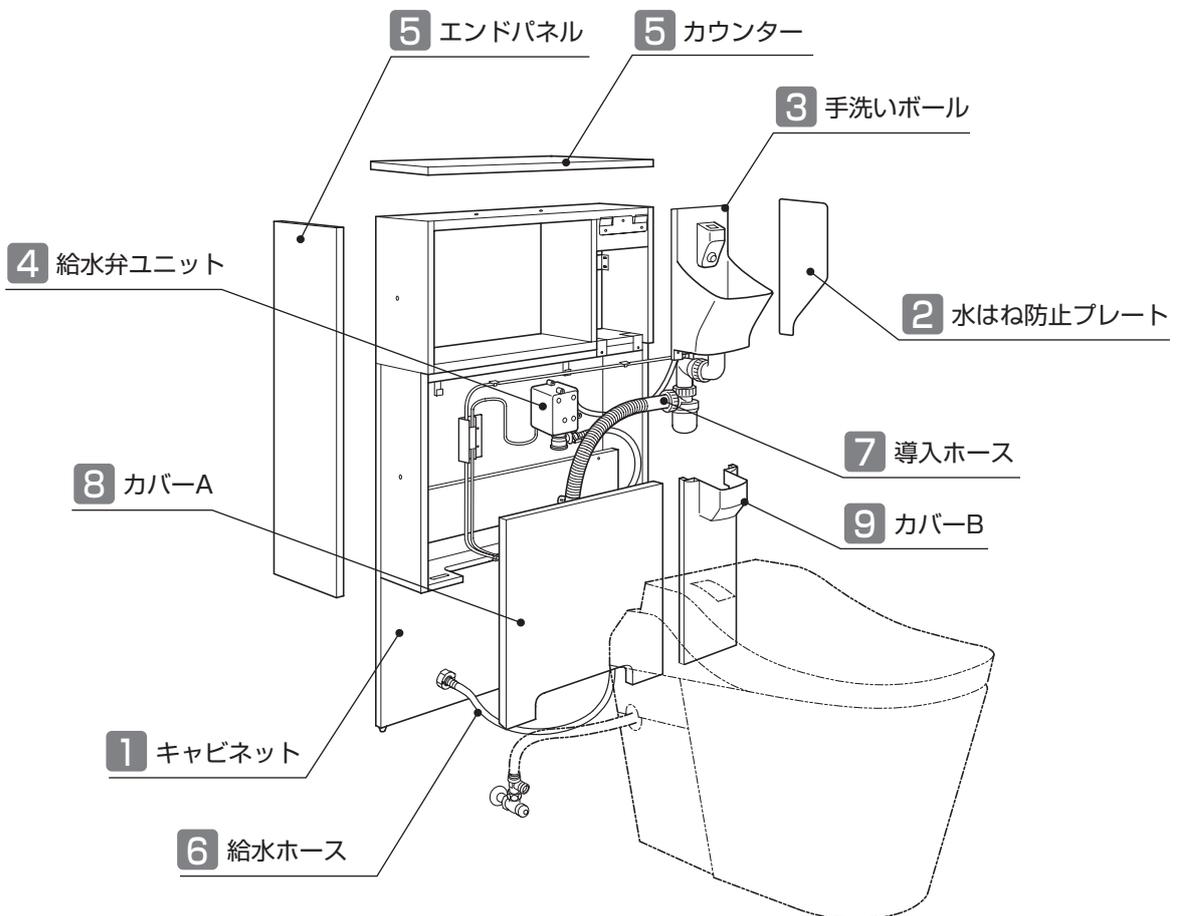
R仕様

L仕様

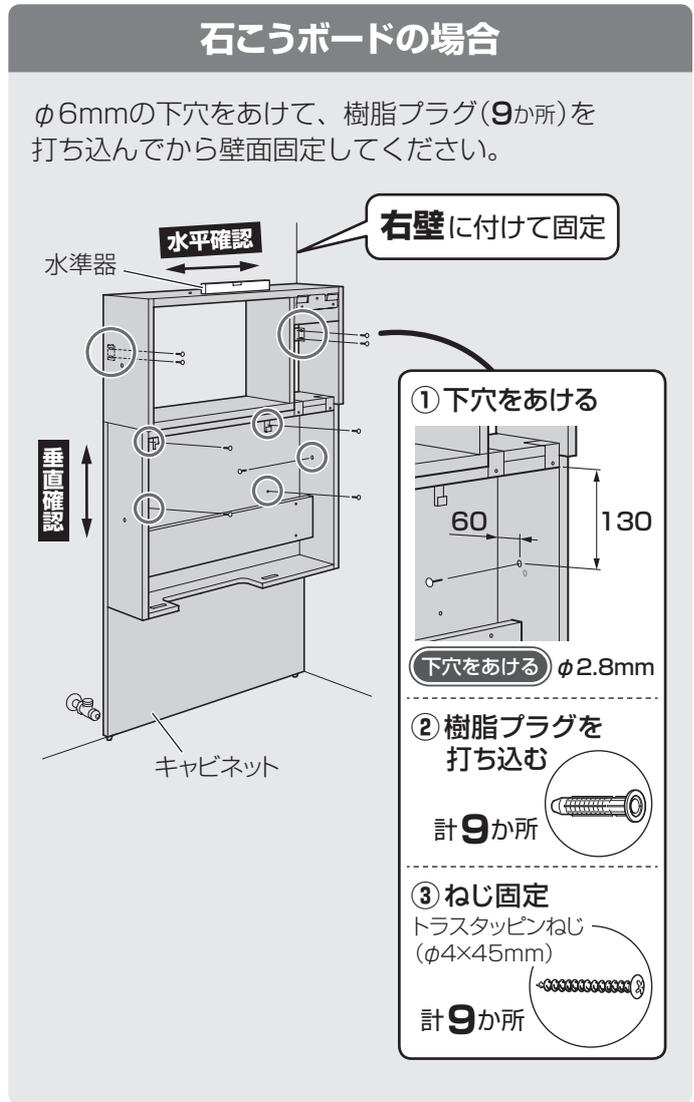
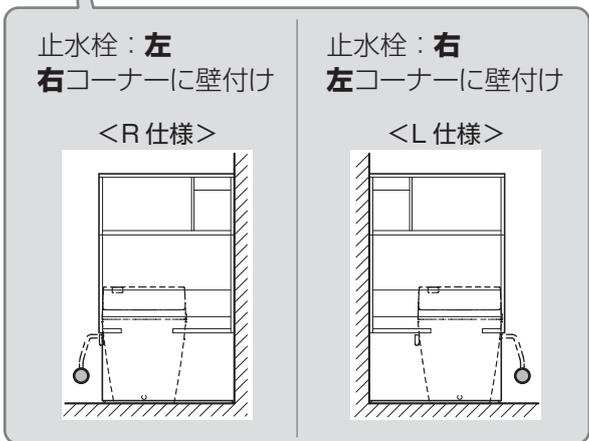
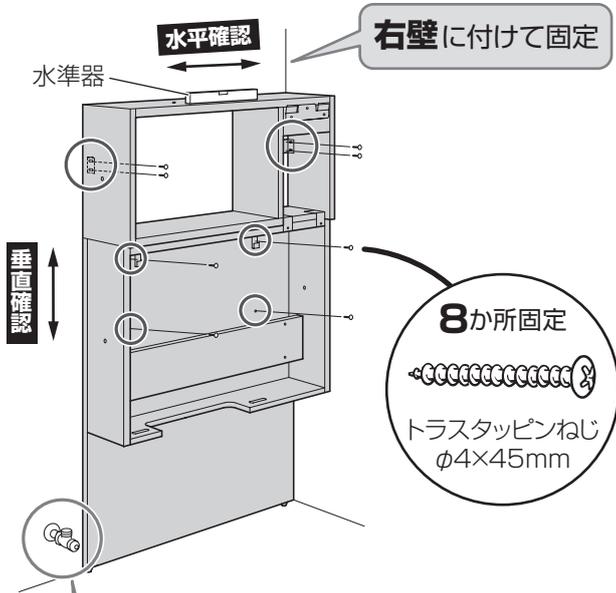


●本書はR仕様のイラストで説明しています。L仕様の場合は対称となります。

構成図



1 キャビネットを壁面に固定する



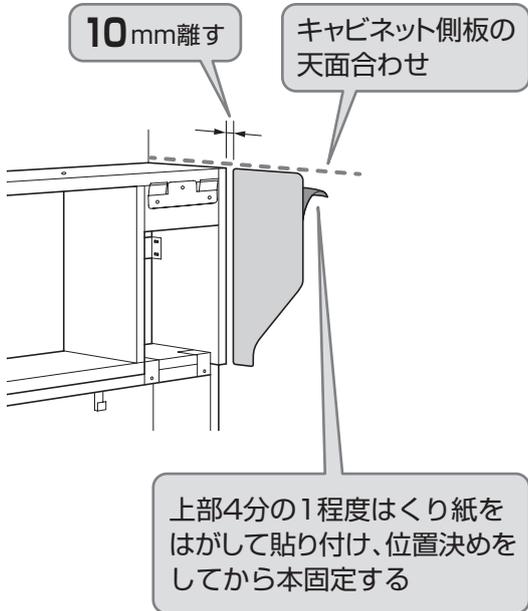
⚠ 注意



必ず守る

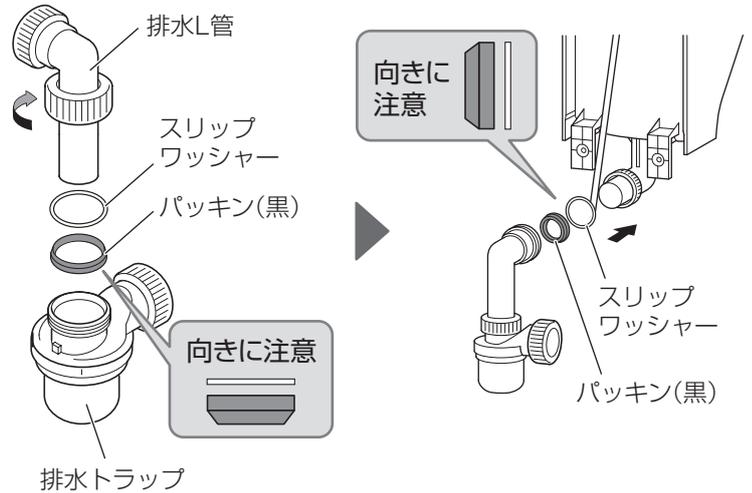
- 壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する
- 石こうボードの場合は、樹脂プラグを打ち込んでから壁面固定する
 また、ねじ固定を指定の個所に1か所追加する
 十分な強度がない場合は、12mm以上の合板で補強する
 落下によるけがの原因となります。

2 水はね防止プレートを取り付ける

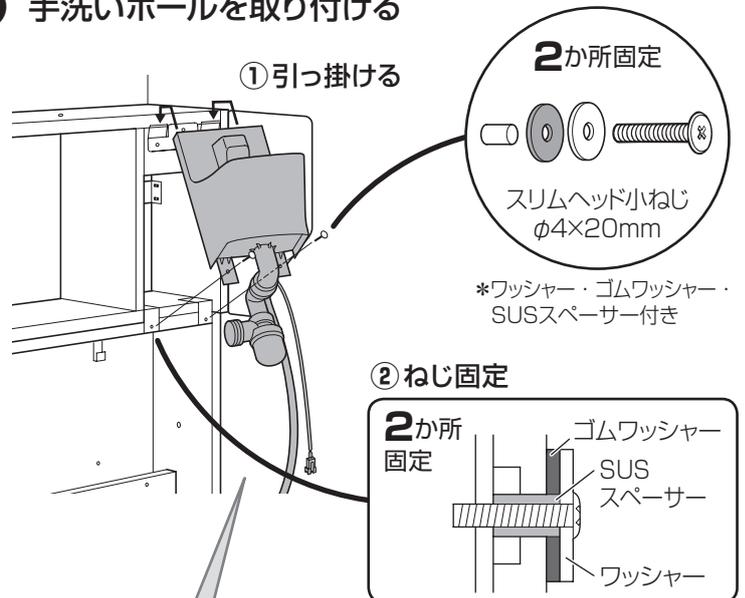


3 手洗いボールを取り付ける

1 配管の接続

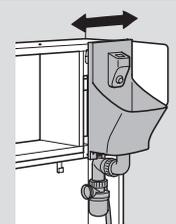


2 手洗いボールを取り付ける



すき間がないように固定する

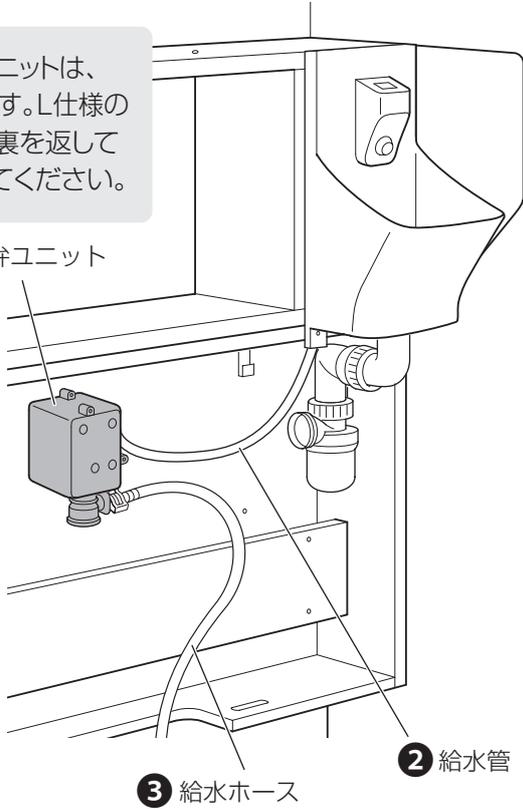
水はね防止プレートとすき間ができないよう左右に調整した後、本固定してください。



4 給水弁ユニットを取り付ける

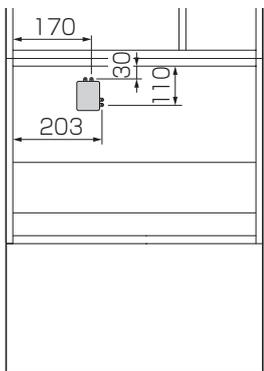
給水弁ユニットは、LR対応です。L仕様の場合は表裏を返して取り付けてください。

1 給水弁ユニット

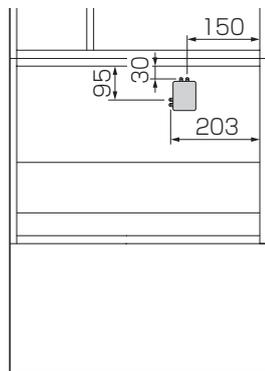


■取り付け位置

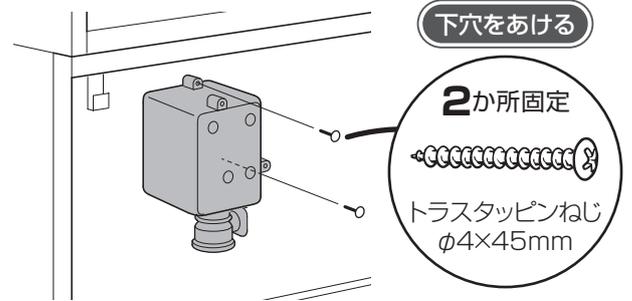
R仕様 向かって左側



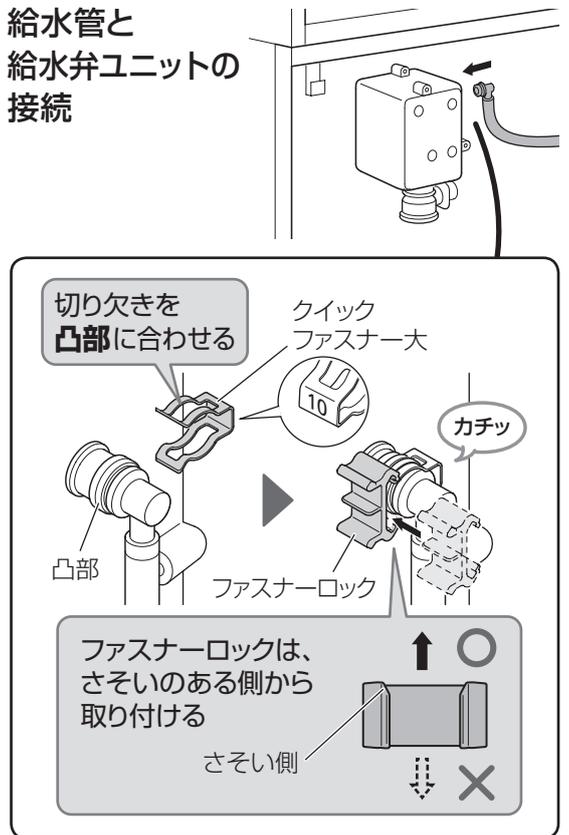
L仕様 向かって右側



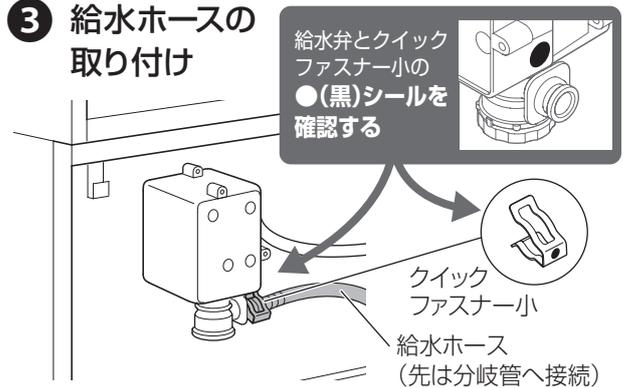
1 給水弁ユニットの固定



2 給水管と給水弁ユニットの接続



3 給水ホースの取り付け



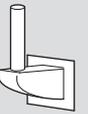
施工手順(フロー型)

施工手順

フロート型

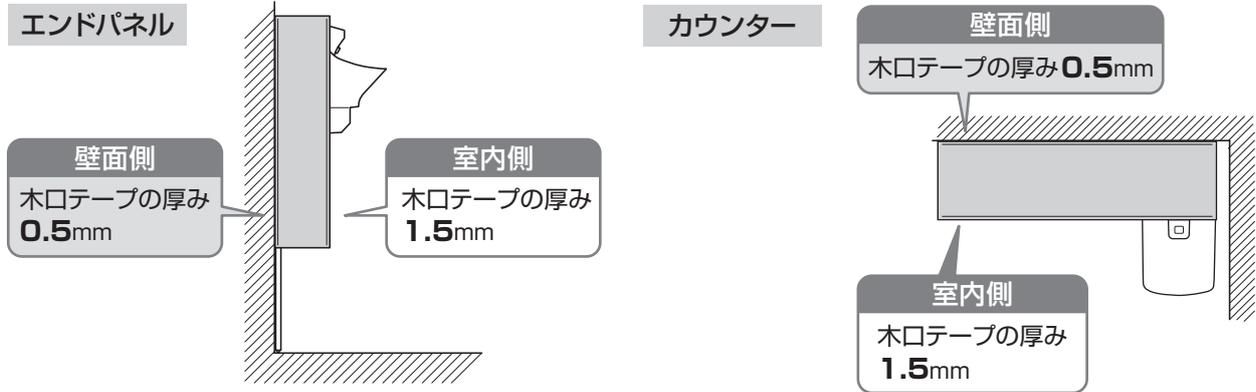
オプション

ペーパーストッカーを取り付ける場合は、
エンドパネルを付ける前に取り付けてください。



5 エンドパネル・カウンター・取付プレートを取り付ける

1 部材の向きを確認する



2 エンドパネルの固定



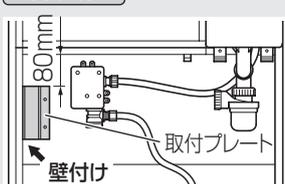
3 カウンターの固定



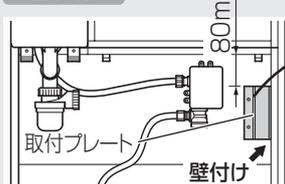
4 取付プレートの取り付け

キャビネット内面より80mmの位置に取り付けてください。

R仕様



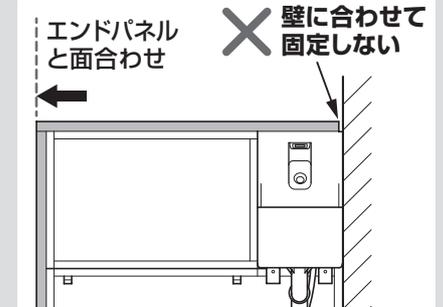
L仕様



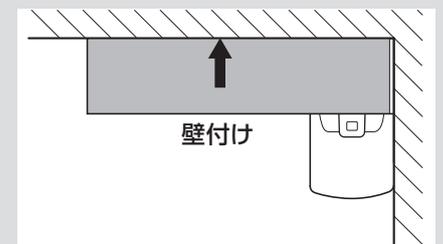
すき間がないように固定する

エンドパネルとカウンターのねじを
仮固定して、すき間ができないよう
調整した後、本固定してください。

■左右方向

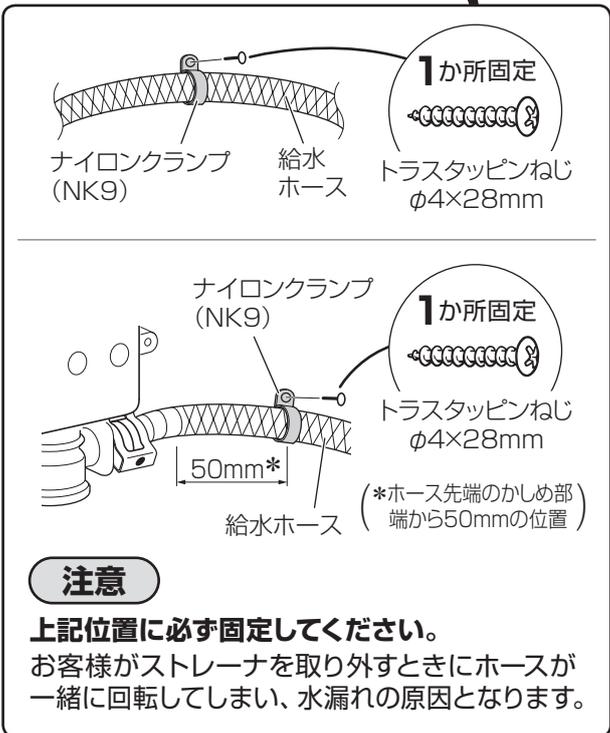
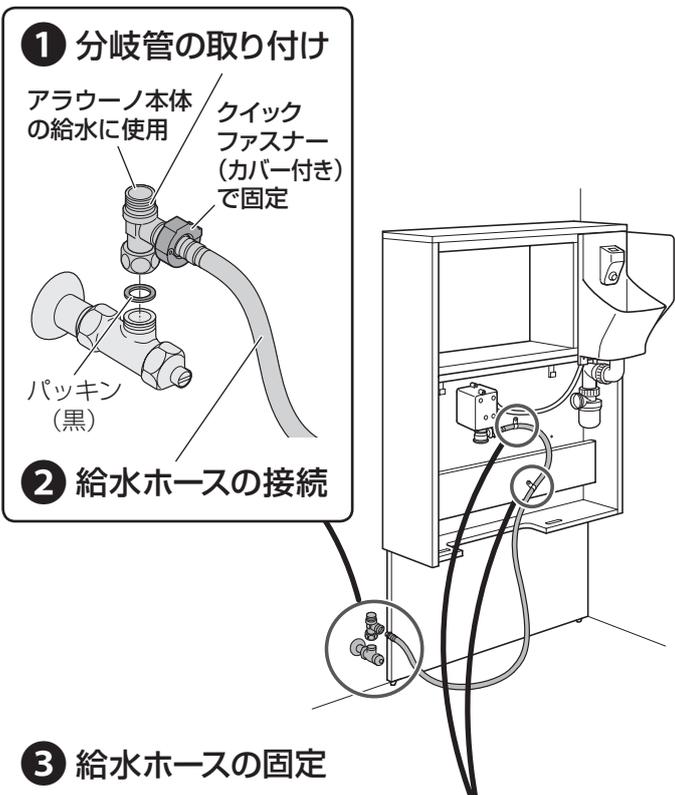


■奥行き方向



6 給水ホースを止水栓に接続する

※必ず止水栓を閉めてから作業してください。



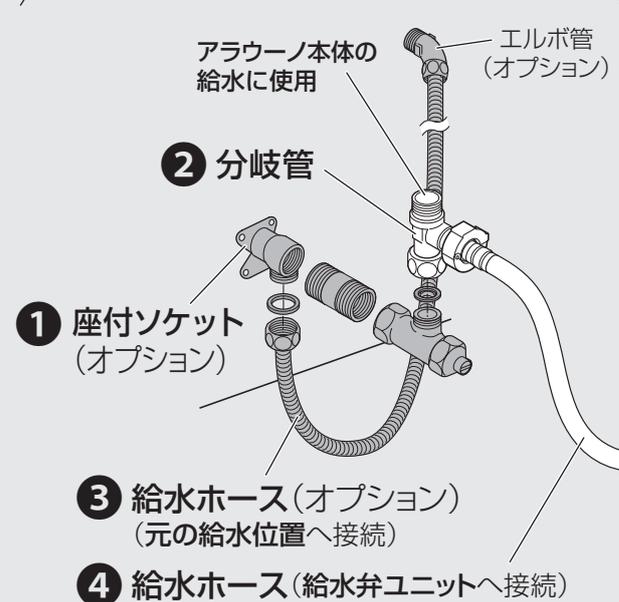
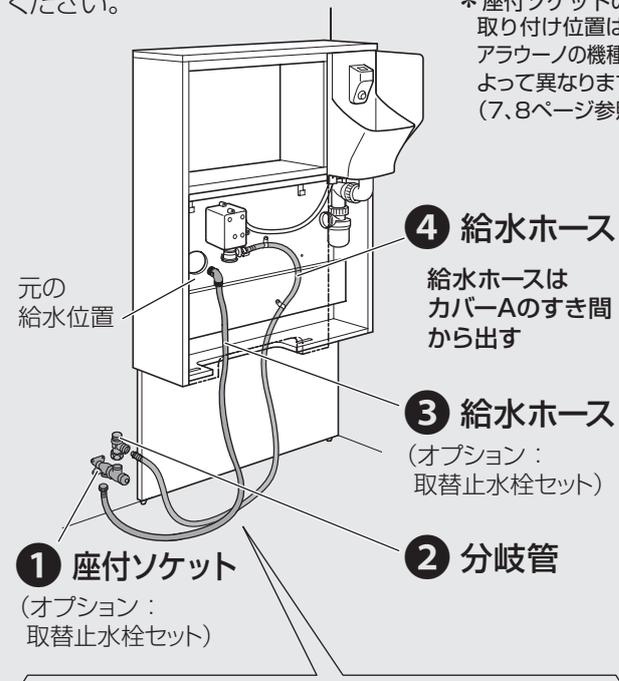
元の給水位置がキャビネットの取付範囲にある場合

①アラウーノ用止水栓を取り付けた座付ソケット(オプション品)を壁面もしくは床面に取り付け*、②分岐管の取り付け、③元の給水位置への接続、④給水ホースの取り付けの順にそれぞれ施工してください。

取替止水栓セット CHA01T



給水ホース1m
座付ソケット
エルボ管
*座付ソケットの取り付け位置は、アラウーノの機種によって異なります。(7,8ページ参照)



7

便器と接続する

CH150と接続する場合

⚠ 注意

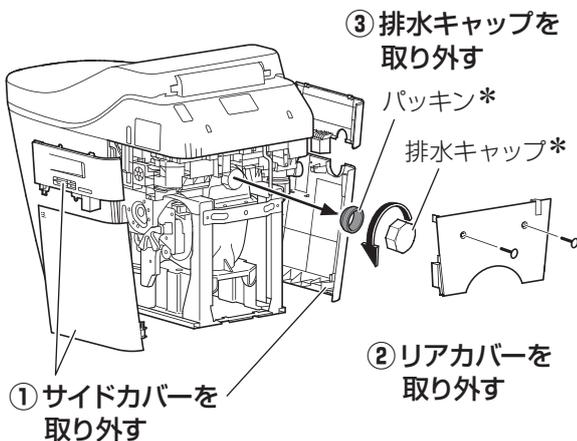
必ず守る 必ず指定のパッキンを使用する
施工に不備があると水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。

⚠ 警告

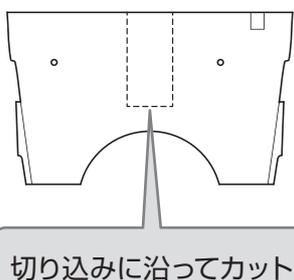
禁止 配線後、電気線をコネクタケースから外さない
感電の原因になります。

1 サイドカバー、リアカバー、排水キャップの取り外し

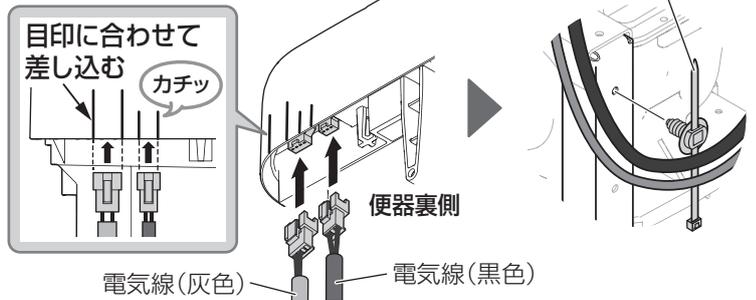
*取り外した後は絶対に使用しない
導入ホースに同梱のパッキンを使用して
ください。



2 リアカバーのカット加工

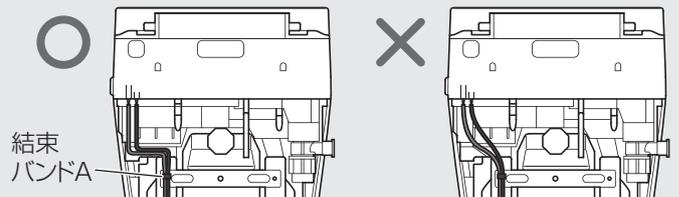


3 電気線と便器の接続

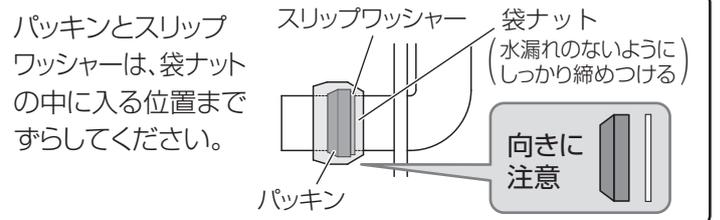
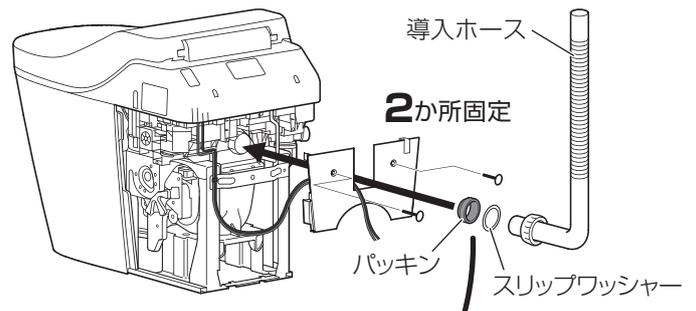


結束バンドAでの固定について

電気線はアラウーノのフレーム幅に収めて固定してください。
フレーム幅に収まっていないと、電気線が干渉してリアカバーが閉まりません。



4 導入ホースと便器の接続



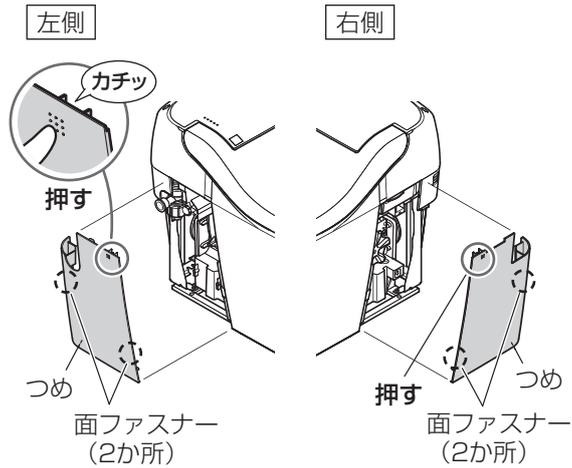
5 便器の取り付け

11ページを参照いただき、施工方法はアラウーノの
施工説明書にしたがって行ってください。

7 導入ホースと手洗いボールの接続へ進む

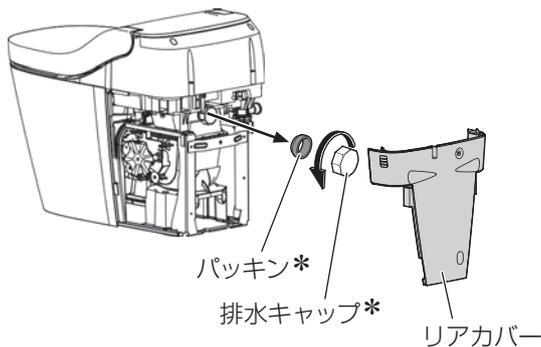
CH160と接続する場合

1 サイドカバーの取り外し

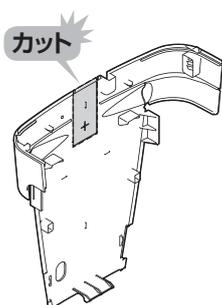


2 リアカバーと排水キャップの取り外し

*取り外した後は絶対に使用しない
導入ホースに同梱のパッキンを使用して
ください。

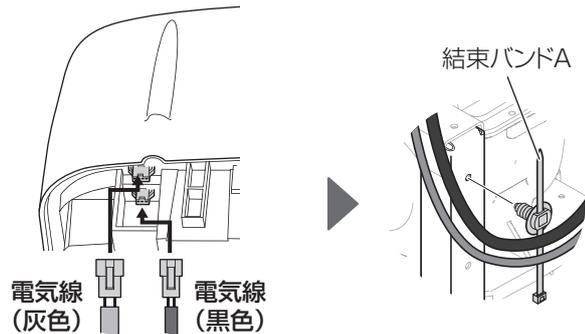


3 リアカバーのカット加工



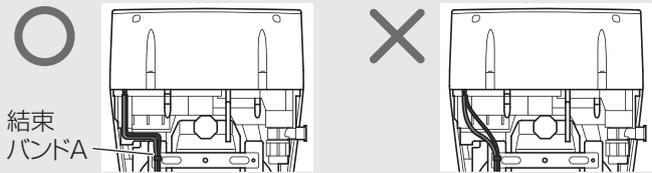
4 電気線と便器の接続

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

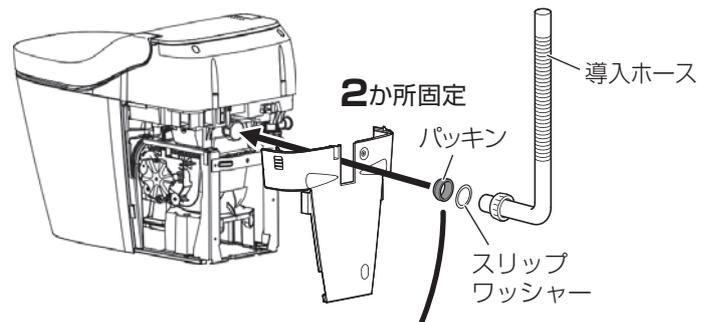


結束バンドAでの固定について

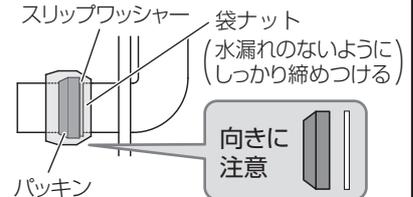
電気線はアラウーノのフレーム幅に収めて固定してください。フレーム幅に収まっていないと、電気線が干渉してリアカバーが閉まりません。



5 導入ホースと便器の接続



パッキンとスリップワッシャーは、袋ナットの中に入る位置までずらしてください。



6 便器の取り付け

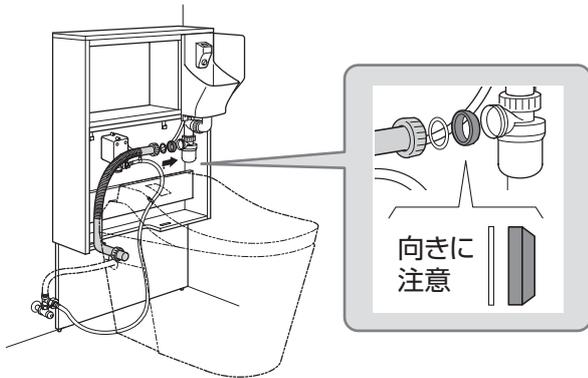
11ページを参照いただき、施工方法はアラウーノの施工説明書にしたがって行ってください。

7 導入ホースと手洗いボールの接続へ進む

7

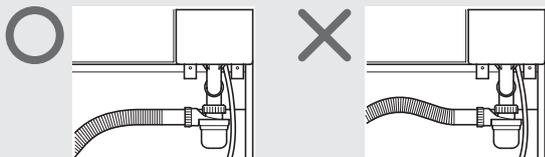
便器と接続する(つづき)

7 導入ホースと手洗いボールの接続



配管の勾配について

台輪を取り付け、導入ホースが逆勾配になる場合は、導入ホースの排水トラップ側をカットしてください。



8 電気線の接続

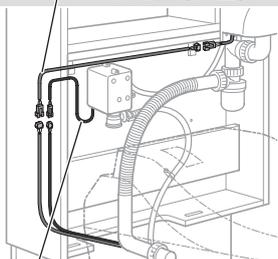
警告



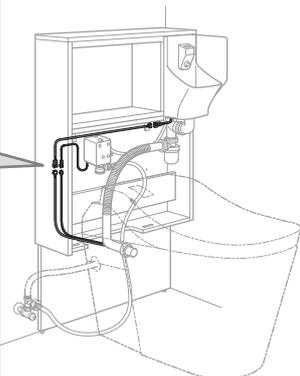
アラウーノ本体の電源プラグが入っていないことを確認して電気線を接続する感電の原因になります。

アラウーノの電気線を手洗いボール、給水弁ユニットのそれぞれ同じ色の電気線と接続してください。

【A】手洗いボールの電気線(灰色)

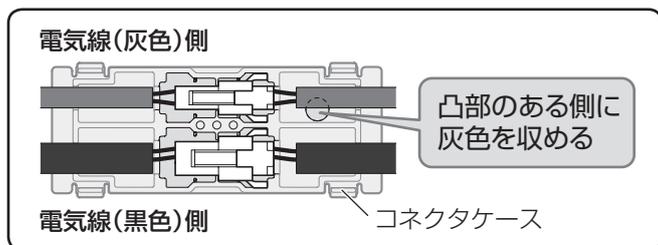


【B】給水弁ユニットの電気線(黒色)

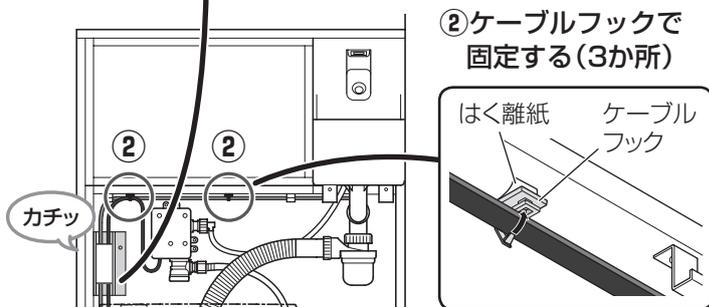


9 電気線の固定

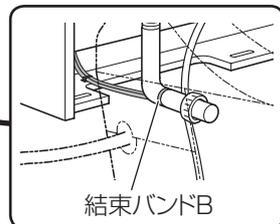
①コネクタケースに収納し、取付プレートの溝にはめる



②ケーブルフックで固定する(3か所)

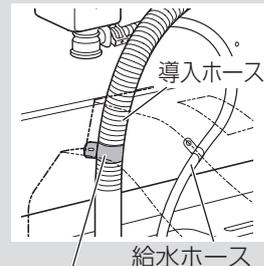


③導入ホースの下側に結束バンドBで固定する



10 導入ホースの固定

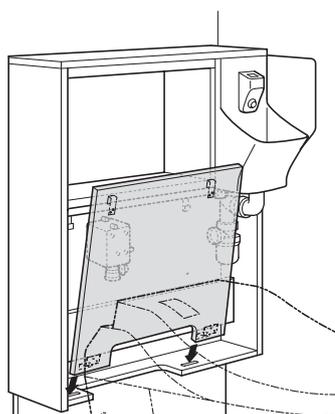
導入ホースをナイロンクランプで固定して、給水ホースの上から押さえ付けてください。



ナイロンクランプ(NK24)
*トラスタッピンねじ
φ4×28で固定する。

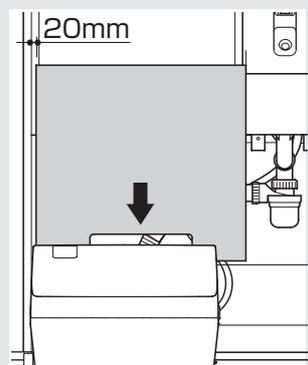
8 カバーAを取り付ける

1 キャビネットの穴に金具を差す

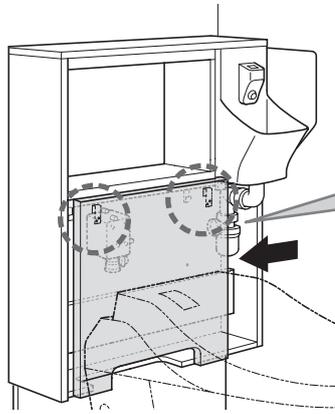


カバーAの差しかたについて

エンドパネルより
20mmの位置を目安に
差し込んでください。



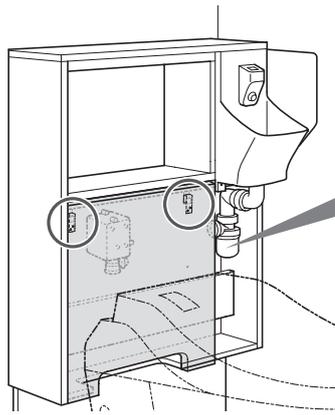
2 左にスライドして金具をかん合させる



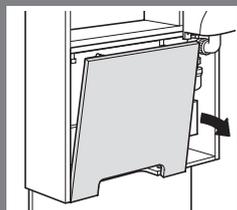
あててスライドする

キャビネット
側の金具
カバーA付属
金具

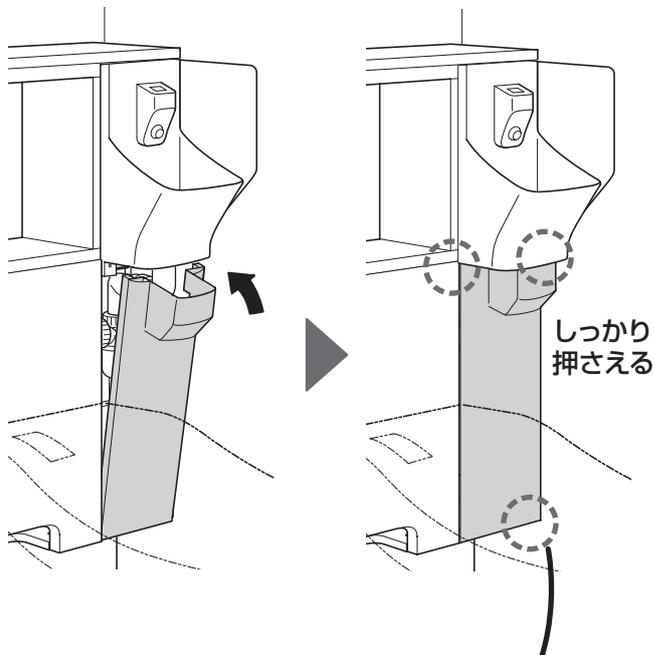
3 エンドパネルに当てる



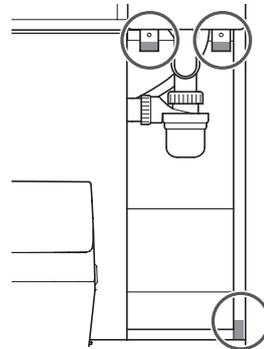
パネルが手前に倒れる
→ 金具に差し込んで
いません。



9 カバーBを取り付ける

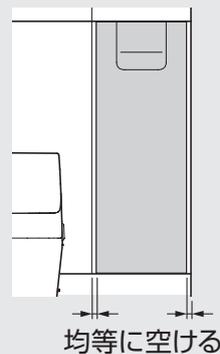


キャビネットに3か所面ファスナーが
取り付けられています。



すき間の調整について

カバーBはすき間を均等に
空けて、しっかり押さえて
取り付けてください。



アラウーノ本体との連動と試運転

1

アラウーノ本体との連動

- 1 アラウーノ本体の施工説明書に従ってアラウーノ本体への給水と通電を行う
- 2 リモコンでアラウーノの「手洗い有無」の設定を「有」にする

「手洗い有無」の設定を「有」にすると、手洗いの水が出る設定になります。

CH150と接続する場合

ノズル掃除 と 便器水位 を同時に

2秒以上押すごとに、モードが切り換わる。

※CH1509*Gの場合、「管理モード」を5秒以上押した後に設定を変更してください。



CH160と接続する場合

フラットリモコン (CH1601)

パワー脱臭 と 便座 を同時に2秒以上押すごとに「有/無」が切り換わる。

フラットリモコン (CH1602)

と 便座 を同時に2秒以上押すごとに「有/無」が切り換わる。

フラットリモコン (CH160**G)

- 1 「管理モード」を5秒以上押す。

- 2 と 便座 を同時に2秒以上押すごとに「有/無」が切り換わる。

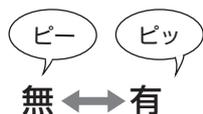
スティックリモコン (CH1601・CH1602)

と 便座温度 を同時に2秒以上押すごとに「有/無」が切り換わる。

スティックリモコン (CH160**G)

- 1 「管理モード」を5秒以上押す。

- 2 と を同時に2秒以上押すごとに「有/無」が切り換わる。



2

試運転

お願い

初めて吐水するときは、給水ホースの空気も一緒に出るため水が勢いよく飛び出します。壁や床がぬれないようご注意ください。

- 1 リモコンの  を押す

- 2 リモコンの  を押す

- 3 本体ボタンの  を押す

お願い

同時に手洗いから吐水されることを確認してください。

- 4 手洗いボールの  を押す

手洗いから吐水することを確認する。



- 5 水漏れを確認する

お願い

配管接続部を増し締めしてください。緩んでいると、水漏れ拡大損害の原因となります。

低水圧地域の場合

(出荷時設定：連動)

次の場合は手洗い連動モードを「**低水圧**」に設定してください。

- ・ 便器洗浄水の勢いが弱く、便器洗浄水が1周回らないとき。
- ※設定しないと十分な洗浄水量が得られないため、便やトイレトーパーが便器洗浄面に残ったり、排水管が詰まることがあります。
- ※設定を変更しても便器洗浄水が1周回らないときは水圧が不足しています。水圧をご確認ください。

CH150と接続する場合

**ノズル
掃除** と **ハネ
抑制** を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。

※CH1509*Gの場合、「管理モード」を5秒以上押した後に設定を変更してください。

CH160と接続する場合

フラットリモコン (CH1601・CH1602)

ノズル除菌 と **温水** を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。

フラットリモコン (CH160**G)

- 1 「管理モード」を5秒以上押す。
- 2 **ノズル除菌** と **温水** を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。

スティックリモコン (CH1601・CH1602)

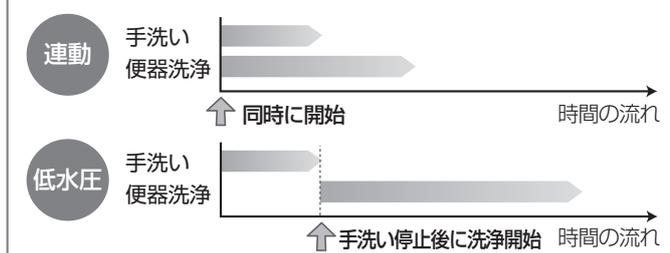
**ノズル
除菌** と **温水
温度** を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。

スティックリモコン (CH160**G)

- 1 「管理モード」を5秒以上押す。
- 2 **小** と **W** を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。



● 便器洗浄と手洗いの水が出るタイミング



水栓数の変更

(出荷時設定：[CH150] 通常モード / [CH160] 連動モード)

水道料金の算出にあたり、水栓数の変更が**有効**となる場合に設定してください。

- ・ 一部の市町村において、本製品の水栓数のカウントは2栓となりますが、下記の設定により、1栓とカウントされる場合があります。

特別モードにすると、手洗いの止/出ボタンの吐水が無効となります。必ずお使用されるお客様にご説明ください。

CH150と接続する場合

**便器
水位** と **ハネ
抑制** を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。

※CH1509*Gの場合、「管理モード」を5秒以上押した後に設定を変更してください。

CH160と接続する場合

フラットリモコン (CH1601)

ノズル除菌 と **パワー脱臭** を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。

フラットリモコン (CH1602)

ノズル除菌 と **DEODORIZING** を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。

フラットリモコン (CH160**G)

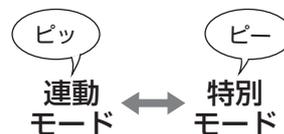
- 1 「管理モード」を5秒以上押す。
- 2 **ノズル除菌** と **DEODORIZING** を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。

スティックリモコン (CH1601・CH1602)

DEODORIZING と **ノズル
除菌** を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。

スティックリモコン (CH160**G)

- 1 「管理モード」を5秒以上押す。
- 2 **大** と **W** を同時に2秒以上押すごとに、
モードが切り換わる。



アラウーノ本体との連動と試運転

施工後の確認

施工前の準備
6ページ

施工手順
①～⑦

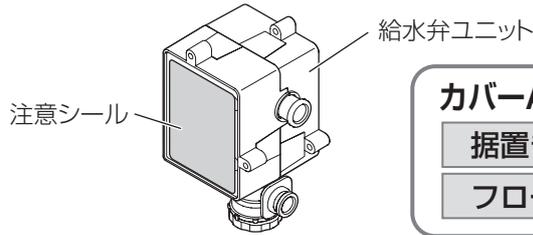
アラウーノ本体との
連動と試運転
34ページ

施工手順
⑧・⑨

施工後の確認
扉の取り付けかた
裏表紙

注意シールの貼り付け

試運転を行った後、給水弁ユニットに注意シールを貼りつけてください。



カバーA、Bを取り付ける へ進む

据置き型：22ページ

フロート型：33ページ

動作確認

施工後必ず動作確認を行い、この施工完了チェックリストに施工点検結果を記入の上、お客様へお渡しください。

No.	チェック項目	結果
1	手洗いボールや、カウンターにがたつきはありませんか？	
2	配管部から水漏れはありませんか？	
3	給水栓から水は出ますか？	
4	アラウーノ本体との連動設定を行いましたか？	

⚠ 注意

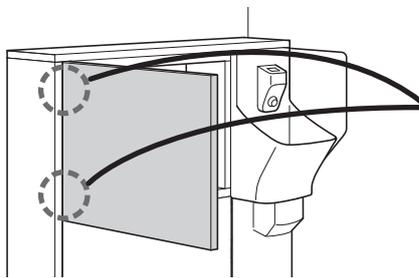


必ず守る

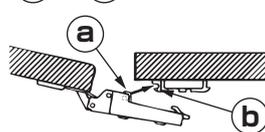
凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う水漏れなどで家財などに損害を与える原因となります。

扉の取り付けかた

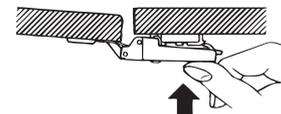
① 扉の取り付けかた



① aをbに差し込む。

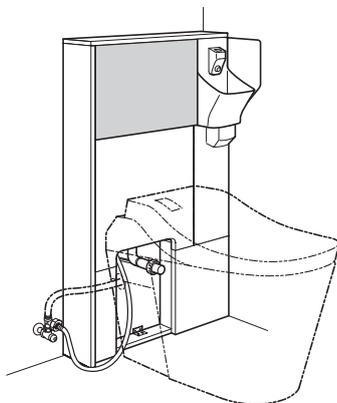


「ガチッ」と鳴るまで押さえる。



お願い 取り付け後、扉を持って2、3回開閉し、丁番が確実に固定されていることを確認してください。

② 扉の調整



扉の状態	扉が前後に傾いた	左右に傾いた
	調整方法	<p>①Aをゆるめて扉を前後に移動させ、しっかり締める</p>

お願い 全ての調整が完了後、扉を2～3回開閉し、扉が確実に固定されたことを確認してください。

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 水廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2018-2023

SEMS114

D0718-6113